

第2期香南市産業振興計画 数値目標及びKPI評価書 (令和2年度～令和6年度)

・ 数値目標(P)に対する客観的評価の方法	:	1	ページ
・ 全部会の評価一覧	:	2	ページ
・ 農業分野	:	3 ～ 8	ページ
・ 林業分野	:	9 ～ 10	ページ
・ 水産業分野	:	11 ～ 13	ページ
・ 商業分野	:	14 ～ 17	ページ
・ 工業分野	:	18 ～ 20	ページ
・ 観光分野	:	21 ～ 24	ページ

数値目標(P)に対する客観的評価の方法

達成状況を客観的に評価できる目標について、以下の4段階評価を実施。

区分	評価基準	
A	年度の数値目標と実績値を比べ、数値を改善、もしくは維持できたもの、又は状況を改善できたもの	<ul style="list-style-type: none">・ 数値目標を達成したもの → 達成率 100%以上・ 数値目標ではないもの → 客観的評価ができる目標を達成したもの
B		<ul style="list-style-type: none">・ 数値目標をほぼ達成したもの → 達成率 60%以上100%未満・ 数値目標ではないもの → 客観的評価ができる目標をほぼ達成したもの
C		<ul style="list-style-type: none">・ 数値目標の達成にむけて十分な進展が見られなかったもの → 達成率 60%未満・ 数値目標ではないもの → 客観的評価ができる目標を達成できなかったもの 又は、進展・改善が見られなかったもの
—	—	<ul style="list-style-type: none">・ 年度の到達目標値が「0」、又は、未着手のため達成状況が図れないもの

【農業分野】									
数値目標	年度	R2	R3	R4	R5	R6	最終 目標値 (5年累計)	達成 (達成度合)	備 考【数値の根拠等】
新規就農者数(人/年)	目標値	10	10	10	10	10	50	B	高知県中央東農業振興センターが毎年公表する 新規就農者数(前年度実績)
	実績値	10	7	11	8	9	45		
	評 価	A	B	A	B	B			
【林業分野】									
数値目標	年度	R2	R3	R4	R5	R6	最終 目標値 (5年累計)	達成 (達成度合)	備 考【数値の根拠等】
間伐面積(ha)	目標値	25	40	50	65	51	231	B	緊急間伐総合支援事業と森林管理制度間伐 委託業務の合計値 ※R3年度から上方修正 R3: 30 ▶ 40 / R4: 35 ▶ 40 /合計 : 185 ▶ 200 ※R4年度から再度上方修正 R4: 40 ▶ 50 /R5: 45 ▶ 65 / R6 : 50 ▶ 51 合計 : 200 ▶ 231
	実績値	25.4	39.5	35.9	29.2	85.1	215.1		
	評 価	A	B	B	C	A			
【水産業分野】									
数値目標	年度	R2	R3	R4	R5	R6	最終 目標値 (5年累計)	達成 (達成度合)	備 考【数値の根拠等】
沿岸漁業総生産額 (百万円/年)	目標値	285	290	295	300	305	1,475	B	高知県漁協(手結・赤岡・吉川)及び漁協水揚げデータに 反映されない法人経営体の生産額
	実績値	290	254	253	241	315	1,353		
	評 価	A	B	B	B	A			
【商業分野】									
数値目標	年度	R2	R3	R4	R5	R6	最終 目標値 (5年累計)	達成 (達成度合)	備 考【数値の根拠等】
商業者数 (事業所/年)	目標値	813	773	768	763	758	758 (延べ)	B	香南市商工会が毎年高知県へ報告している日本 標準産業分類(大分類)のF～O・Q・Rに分類 される事業所数 ※R3年度から再設定 R3: 814 ▶ 773 / R4:815 ▶ 768 / R5: 816 ▶ 763 R6: 817 ▶ 758 最終 : 817 ▶ 758
	実績値	778	777	768	770	753	753		
	評 価	－	A	A	A	B			
新規事務系企業数 (企業/年)	目標値	2	2	2	2	2	10 (累計)	C	香南市内の空き店舗等を活用し、市内住民を雇用 することを前提に、首都圏等から進出していただく 新規事務系企業数
	実績値	1	0	1	1	0	3		
	評 価	C	C	C	C	C			
【工業分野】									
数値目標	年度	R2	R3	R4	R5	R6	最終 目標値 (5年累計)	達成 (達成度合)	備 考【数値の根拠等】
製造品出荷額 (億円/年)	目標値	360	380	400	420	440	R2～R5 1,560	B	工業統計調査 (調査年は前年度の製造品出荷額) ※R6年度の製造品出荷額は、公表されていないことから、 評価は示していない。
	実績値	344	380	295	387	－	R2～R5 1,406		
	評 価	B	A	B	B	－			
新規雇用者数 (人/年)	目標値	5	8	19	16	15	63	A	市内立地企業に新たに雇用された市在住の人数 ※立地企業の事業計画に基づく予定雇用者数の内、現在 雇用している方を差し引いた人数の半数以上が地元雇用 者と仮定し、 地元雇用者数の70%を見込んだもの。 ※R2～R4年度の実績に齟齬があり修正。 R2:20 ▶ 21 R3:23 ▶ 29 R4:14 ▶ 17
	実績値	21	29	17	11	9	87		
	評 価	A	A	B	B	B			
【観光分野】									
数値目標	年度	R2	R3	R4	R5	R6	最終 目標値 (5年累計)	達成 (達成度合)	備 考【数値の根拠等】
観光施設入込客数 (万人)	目標値	107	110	114	117	121	569	B	観光庁の「観光客入込客統計に関する共通基準」に該当 する 下記対象施設の入込客数。 (暦年 1～12月の合計) 【対象10施設】 ①県立のいち動物公園 ②月見山子どもの森 ③ヤ・シィパーク ④絵金蔵 ⑤天然色市場 ⑥やすらぎ市 ⑦あぐりのさと ⑧黒潮温泉 ⑨創造広場「アクトランド」 ⑩土佐カントリークラブ
	実績値	90.7	96.2	102.2	101.8	98.3	489.2		
	評 価	B	B	B	B	B			

第2期数値目標及びKPI評価書

【農業分野】

数値目標	年度	基準値 (R元年度末)	R2	R3	R4	R5	R6	最終目標 (累計)	第2期の 達成度合	備 考
新規就農者数 (人)	目標値	15	10	10	10	10	10	50	B	高知県中央東農業振興センター が毎年公表する新規就農者数 (前年度実績)
	実績値	9	10	7	11	8	9	45		
	達成 (評価)	B	A	B	A	B	B		90%	

■取り組みの内容について

<p>【 第2期の総活 】</p> <p>4年間での新規就農者数の実績35人と目標40人を下回りB評価とした。この実績値は新規参入と親元就農の合計数であり、内訳では毎年ほぼ偏りもない状況。また、本指標には含まれていないが、雇用就農も毎年1人～2人前後おり、幅広いケースで就農されている。この実績値は近隣市町村と比較しても大きく上回っており、就農相談件数も県内で上位の件数。各種就農相談会等に参加し本市のPRを行っていることから、広範囲にわたる優良農地や利便性の良い住環境など本市の恵まれた立地条件等が実績にも繋がっていると思われる。</p> <p>また、新規就農者に対しては関係機関が連携を図り農地確保や営農指導、制度活用等で幅広くサポートしている。資材等の高騰により農業を取り巻く環境は年々厳しさを増し、施設園芸が盛んな本市ではその傾向はより顕著であると言えるが、新規参入者には本市が整備する実践型研修ハウスの活用を促進し、親元就農者には、国県事業の要件に満たない者を市単独補助金により支援するなど、本市独自の取り組みも新規就農者の確保に貢献している。</p> <p>品目別では日本一の生産量を誇るニラでの就農者数がほぼ半数を占めており、次いで山北みかんとなっており、本市を代表する品目で新規就農者を確保しており、高齢化が進む産地において耕作放棄地の抑制、生産量の維持拡大に寄与されている。</p>
--

PDCAサイクル: (P)Plan…計画(D)Do…実行(C)Check…評価(A)Action…改善

戦略の柱	◆取り組みの柱	年度	基準値 (H30年度末)	R2	R3	R4	R5	R6	計(C)	第2期の 達成度合	【今後の取り組み】(A)
	事業名称	目標値								A/B/C	
	○具体的な取組(P)	実績値									
担い手確保に向けた取り組み	◆ 担い手確保に向けた取り組み										
		年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	計(C)	第2期の 達成度合	【R7年度の取り組み内容】(A)
	1. 新規就農者総合対策事業 【補助交付人数(人)】 (R2)農業次世代人材投資事業(準備型) (R3)農業次世代人材投資事業(準備型) (R4)就農準備資金 (R5)就農準備資金 (R6)就農準備資金	目標値	－	1	1	1	1	1	5	A	東京や大阪等で行われる新・農業人フェアの他、R7年度は大阪で開催する高知一次産業フェア(れんけいこうち共催)へも参加し、より高知にターゲットを絞った就農相談に対応することで、意欲ある就農希望者へ香南市をPRしていく。また、関係機関と情報共有・連携しつつ研修からサポートしていく体制を強化。相談者に対し、研修受入農家が不足している現状も踏まえ、相談者を確実に就農につなげていくための受入農家の拡充にも注力する。
		実績値	－	0	2	2	0	1	5		
		達成(評価)(C)	－	C	A	A	C	A		100%	
		5年間の 取り組みの 総括 (D・C)	本事業は、就農前の研修実施に係る国費事業であり、就農に向けて適切かつ十分な研修を行うためにも優先的に案内を行ってきた。 毎年多くの就農相談がある中で、家庭の事情や希望する品目、就農形態等の理由などにより本事業を活用できるかどうか分かれる他、研修受入農家が見つからなければ活用できないため、実績値に明確な傾向等は見当たらないが、引き続き関係機関とも連携強化を図り、本市の農業のPRと就農相談への対応の中で事業活用の案内を行う必要がある。								
		年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	計(C)	第2期の 達成度合	【R7年度の取り組み内容】(A)
	2. 雇用就農資金事業 【補助交付人数(人)】 (R2)農の雇用事業 (R3)農の雇用事業 (R4)雇用就農資金事業 (R5)雇用就農資金事業 (R6)雇用就農資金事業	目標値	－	1	1	1	1	1	5	B	対象事業所が少ないため、多くの事業活用は見込めないものの、JA・高知県中央東農業振興センターと連携することで、農業法人等に限らず、個人農家も含めた雇用ニーズの把握に努め、また新規就農相談の中でも雇用就農の意向があれば事業所を紹介していく。
		実績値	－	0	0	1	1	1	3		
		達成(評価)(C)	－	C	C	A	A	A		60%	
		5年間の 取り組みの 総括 (D・C)	本事業は、上記1の事業に該当しなかった場合の受け皿のような位置付けとなっている。 研修生にとっては、雇用されることにより給与収入を得ながら実践的な研修を受けることができるメリットがあるが、受入農家にとっては(本事業による補助があることを差し引いても)事業活用に係る各種手続き、報告等や研修指導を行うこと自体の負担に加え、人件費が発生するという経費的な負担もある。そのため、研修実施に対する第2、第3の選択肢として案内及び活用をしていくこととなる。								

PDCAサイクル：(P)Plan…計画(D)Do…実行(C)Check…評価(A)Action…改善													
戦略の柱	◆取り組みの柱		年度	基準値 (H30年度末)	R2	R3	R4	R5	R6	計(C)	第2期の 達成度合	【今後の取り組み】(A)	
	事業名称	目標値									A/B/C		
	○具体的な取組(P)	実績値											
担い手確保に向けた取り組み			年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	計(C)	第2期の 達成度合	【R7年度の取り組み内容】(A)	
	3-1. 就農支援事業 (新規参入者支援区分) 【補助交付人数(人)】 (R2)担い手支援事業(専業農家育成支援区分) (R3)担い手支援事業(専業農家育成支援区分) (R4)担い手支援事業(青年農業者支援区分) (R5)担い手支援事業(青年農業者支援区分) (R6)就農支援事業(新規参入者支援区分)	目標値	4	4	4	4	4	4	4	20	C	基本的に取り組み1の就農準備資金(国費)活用者への県の上乗せ事業のため、研修を受講する意欲のある就農希望者に対してのサポートとして、適切に手続きを進めていく。 新規就農相談時には、研修の必要性を説明し、事業につながるよう、JA・高知県中央東農業振興センターと新規就農希望者情報の共有・連携を行う。また、市広報にも掲載し、制度の周知も引き続き行っていく。	
		実績値	4	0	2	2	3	1	8				
		達成(評価)(C)	A	C	C	C	B	C			40%		
		5年間の 取り組みの 総括 (D・C)	本事業は、上記1・2の事業活用の際に補助金の上乗せができる県事業であるため、本事業のみの案内や活用は無し。 (制度的には単独で活用することもできないことはないが、基本的には国費への上乗せ事業) ※国事業とは活用できる年数に差がある場合(雇用就農によるケース、R6より別事業)もあり、本指標の上では上記1・2の合計値にはなっていない。										
			年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	計(C)	第2期の 達成度合		【R7年度の取り組み内容】(A)
	3-2. 就農支援事業 (後継者就農促進区分) 【補助交付人数(人)】 (R2)担い手支援事業(後継者育成支援区分) (R3)担い手支援事業(後継者育成支援区分) (R4)担い手支援事業(後継者育成支援区分) (R5)担い手支援事業(後継者育成支援区分) (R6)就農支援事業(後継者就農促進区分)	目標値	3	3	3	3	3	3	3	15	C	就農相談会(れんけいこうち)や新・農業人フェアへ参加し、市内出身者で市外及び県外在住の方へのUターン就農を促す。また、親元就農相談者に積極的に研修受講を呼びかけ、事業活用につなげていく。また、広報へ掲載(6月号)するなど、より広く周知することで、支援があることをきっかけに親元就農を考える機会にしてもらうよう既存農家への働きかけを行う。	
		実績値	0	2	1	0	1	1	5				
		達成(評価)(C)	C	B	C	C	C	C			33%		
		5年間の 取り組みの 総括 (D・C)	親元就農の希望者に対して案内を行う事業であるが、四万十町の農業担い手育成センターで最低3ヵ月間の研修を行う必要があり、乳幼児がいる家庭や、親の経営(農作業)の労働力として欠かせない人員になっている場合などはこの研修が実施できず、補助対象外となってしまう。そういった理由から、毎年多くの親元就農の相談がある中で、毎年1〜2人しか事業活用に至っていない。										
			年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	計(C)	第2期の 達成度合		【R7年度の取り組み内容】(A)
	4. 新規就農者総合対策事業 (経営開始資金) 【補助金の新規交付人数(人)】 (R2)農業次世代人材投資事業(開始型) (R3)農業次世代人材投資事業(開始型) (R4)新規就農者総合対策事業(経営開始資金) (R5)新規就農者総合対策事業(経営開始資金) (R6)新規就農者総合対策事業(経営開始資金)	目標値	10	4	4	4	4	4	4	20	B	経営開始資金は、市の実践型研修ハウスを利用できるため、相談時に説明を行う。 また、県内外の就農相談会等で実践型研修ハウスの存在(県内でも当該ハウスを有している数少ない市町村であり、新規就農者への環境整備が進んでいること)をアピールし、香南市への勧誘を行う。 高知県中央東農業振興センターと連携し、情報を共有し、HPで常時掲載するだけでなく、広報でも事業の周知を図る。	
		実績値	13	6	2	4	2	4	18				
		達成(評価)(C)	A	A	C	A	C	A			90%		
		5年間の 取り組みの 総括 (D・C)	本事業は、研修を受けて一定の知識・技術を身に付けた方に対し、就農後の経営安定、または当地への定着を図るために実施している。新規就農者への支援の中では、研修実施に係る事業1(就農準備資金)と就農時に係る本事業の2本柱の取組と言える。 離農を防ぐため、一定の知識・技術を習得した上での事業活用が要件となっており、研修受講歴の有無によって活用可否が分かれるが、地域農業の将来的な担い手を育成するという観点からも、就農後の計画等も含め慎重に精査した上での交付につなげていく。										
			年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	計(C)	第2期の 達成度合		【R7年度の取り組み内容】(A)

PDCAサイクル：(P)Plan…計画(D)Do…実行(C)Check…評価(A)Action…改善												
戦略の柱	◆取り組みの柱		年度	基準値 (H30年度末)	R2	R3	R4	R5	R6	計(C)	第2期の 達成度合	【今後の取り組み】(A)
	事業名称	目標値									A/B/C	
	○具体的な取組 (P)	実績値										
担い手確保に向けた取り組み			年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	計(C)	第2期の 達成度合	【R7年度の取り組み内容】(A)
	5. 農業後継者推進事業 【補助金の新規交付人数(人)】		目標値	15	6	6	6	6	6	30	B	JA・高知県中央東農業振興センターと連携し、後継者の情報を共有することで、事業の活用につなげていく。また、広報へ掲載(6月号)するなど、より広く周知することで、資金面で不安を感じている方に対し、支援があることをきっかけに親元就農を考える機会にしてみよう既存農家への働きかけを行う。
	(R2) 農業後継者推進事業 (R3) 農業後継者推進事業 (R4) 農業後継者推進事業 (R5) 農業後継者推進事業 (R6) 農業後継者推進事業		実績値	15	1	5	4	4	4	18		
			達成(評価)(C)	A	C	B	B	B	B		60%	
			5年間の 取り組みの 総括 (D・C)	県内でも数少ない市単独での親元就農に係る支援制度であり、事業3-2(県事業)が活用できない場合の受け皿として実施している。 親元就農は、農地確保や経営基盤があるといったことから、非農家出身の方よりも就農しやすい環境にあるため、祖父母や両親からの相談も含め相談件数も多い反面、新規就農者自身が家族労働力としての大きな役割を担っている場合も多く長期間の研修が受講しづらい状況にある。そのため国や県の事業活用が難しく、本事業が有効な支援策として活用されている。								
			年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	計(C)	第2期の 達成度合	【R7年度の取り組み内容】(A)
	6. モニターツアー事業 【参加者人数(人)】		目標値	－	15	20	20	20	－	0	－	R2年度以降、新型コロナウイルス感染症の影響により事業中断し、R5年度に再開せずに事業中止とした。
	(R2) モニターツアー事業 (R3) モニターツアー事業 (R4) モニターツアー事業		実績値	－	－	－	－	R5年度以降事業中止				
			達成(評価)(C)	－	－	－	－	－	－		－	
			5年間の 取り組みの 総括 (D・C)	農作業体験を通じて就農をより具体的に考えてもらう機会とするために第1期から事業実施してきたが、農業経営にとって厳しい状況が続く中で、受入農家の負担も大きく、また参加者についても就農につながるような方の参加がないことから事業について見直しを行い、R5年度から中止とした。								
経営改善・農地維持に向けた取り組み	◆経営改善・農地維持に向けた取り組み											
			年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	計(C)	第2期の 達成度合	【R7年度の取り組み内容】(A)
	1. 園芸用ハウス整備事業 【整備件数(件)】		目標値	19	13	13	13	13	13	65	C	R7年度も、引き続き中古ハウスの修繕・移設(流動化区分)を中心に事業活用に向け、JAや農業振興センターと連携し、周知していく。 また、R7年度よりハウスの10aあたりの補助限度額が中古ハウス以外の一般ハウス、軒高・高強度ハウスで引き上げになったことから、ハウス新設も積極的に案内していく。 R7年4月現在、R6年度繰越の高度化1件を実施中である。 R7年度としては、流動化区分(新規就農)3件、流動化区分4件、新規就農区分3件、高度化区分2件を実施見込みである。
	(R2) 園芸用ハウス整備事業 (R3) 園芸用ハウス整備事業 (R4) 園芸用ハウス整備事業 (R5) 園芸用ハウス整備事業 (R6) 園芸用ハウス整備事業		実績値	13	6	11	8	7	6	38		
			達成(評価)(C)	B	C	B	B	C	C		58%	
			5年間の 取り組みの 総括 (D・C)	新規就農者、規模拡大等を行う園芸農家が園芸用ハウス整備事業を活用することにより、香南市主要作物の耕作面積が増えることで、農業生産性及び農業所得の向上に寄与してきた。 今後も香南市の園芸産地の維持・発展につながる事業であることから、今後も引き続き産業振興計画に位置づけが必要である。								
			年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	計(C)	第2期の 達成度合	【R7年度の取り組み内容】(A)
	2. 園芸用ハウス等リノベーション事業 【活用施設件数(件)】		目標値	19	25	25	25	25	25	125	B	R7年度の申請については4月の一次申請で受付終了となっており、県からの採択があれば順次手続きを進めていく。 R7申請数：14名・21施設 導入ニーズの掘り起こしについては、JAを通じ、県補助金のタイミングと合わせて、秋ごろに翌年度の要望調査を行う。これまでの実績により導入件数も増えてきたため以前ほどの活用件数は見込まれない点も踏まえ、要望量調査時に精度を高める必要がある。
	(R2) 環境制御技術高度化事業 (R3) 環境制御技術高度化事業 (R4) 環境制御技術高度化事業 (R5) 園芸用ハウス等リノベーション事業 (R6) 園芸用ハウス等リノベーション事業		実績値	43	21	21	10	24	11	87		
			達成(評価)(C)	A	B	B	C	B	C		70%	
		5年間の 取り組みの 総括 (D・C)	環境測定装置や炭酸ガス発生機などの施設園芸に係る機器導入を推進し、省力化や収益性の向上に効果のある取り組みが実施できた。今後も一定のニーズはあると予想されるものの、導入が進んでいることから、これまでのような安定した活用件数は難しいと考えられる。 また、県により事業内容が頻繁に変更されており、補助対象となる機器等にも留意が必要。									

PDCAサイクル：(P)Plan…計画(D)Do…実行(C)Check…評価(A)Action…改善												
戦略の柱	◆取り組みの柱	年度	基準値 (H30年度末)	R2	R3	R4	R5	R6	計(C)	第2期の 達成度合	【今後の取り組み】(A)	
	事業名称	目標値								A/B/C		
	○具体的な取組(P)	実績値										
経営改善 ・ 農地維持に向けた取り組み		年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	計(C)	第2期の 達成度合	【R7年度の取り組み内容】(A)	
	3. 産地パワーアップ事業 【事業活用件数(件)】(ニラ) R4年度の計画策定が困難なため、当事業 はR3年度で終了。 (R2)産地パワーアップ事業 (R3)産地パワーアップ事業	目標値	48	30	30	－	－	－	60	－		
	実績値	23	12	43	R3年度で事業終了			55				
	達成(評価)(C)	C	C	A	－	－	－					
	5年間の 取り組みの 総括 (D・C)	ニラの2期計画として実施してきた事業だったが、そぐり機や環境制御装置の導入が一定進んだこともあり、現状から伸ばす 各数値目標の設定が難しくなり、次期計画の策定ができなくなったことで、本事業は終了となった。										
		年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	計(C)	第2期の 達成度合	【R7年度の取り組み内容】(A)	
	4. 人・農地プランの実質化 【協議地区数(地区)】 変更前	目標値	－	20	5	5	－	－	－			
	実績値	－	20	3	3	R5年度以降 「地域計画」取り組みへ移行						
	達成(評価)(C)	－	A	B	B	－	－					
	【実施主体】 香南市 香南市農業委員会	5年間の 取り組みの 総括 (D・C)	法改正に伴い、地域計画策定に向けた取り組みに移行。									
		年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	計(C)	第2期の 達成度合	【R7年度の取り組み内容】(A)	
	4. 地域計画の策定 【協議地区数(地区)】 R5年度 18地区で1度目の協議済 変更後	目標値	－	－	－	－	6	12	18	A	令和6年度で市内全18地区の地域計 画が策定できた。 令和7年度以降も、引き続き地区での 協議を行い、地域計画をさらにより良 い計画にできるよう取り組んでいく。	
	実績値	－	－	－	－	0	18	18				
	達成(評価)(C)	－	－	－	－	C	A		100%			
	【実施主体】 香南市 香南市農業委員会	5年間の 取り組みの 総括 (D・C)	令和6年度で香南市内18地区で地域計画を策定するようになるが、地域計画策定はスタート地点である。策定後においても、 継続的に地域で話し合い地域の農地をどうやって守っていくかについて検討することが重要である。 また、地域計画に位置づけられている経営体や農地が要件となる事業があることから、必要に応じて地域計画の見直しが必要 である。									
		年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	計(C)	第2期の 達成度合	【R7年度の取り組み内容】(A)	
	5. 農産物のブランド化の推進(みかん) 【加工品の販売額(千円)】 → R5～ 【加工用みかん販売平均単価(円)】 (R2)加工品の販売額(千円) (R3)加工品の販売額(千円) (R4)加工品の販売額(千円) (R5)加工用みかん販売平均単価(円) (R6)加工用みかん販売平均単価(円)	目標値	－	5,500	5,700	6,000	6,500 ▷ 32	34		B	青果としての秀品の出荷が一番では あるが、加工用に回るものは必ず発生 するため、農家の所得向上に繋げるた めにもJAや露地みかん部会を中心に 単価アップに向けたPR及び交渉は引 き続き行っていく。 その上で、第3期からは指標をみかん の販売額に変更し、みかん自体の生 産量など動向の把握に努め、加工品 だけでなく山北産地としての維持発展 に取り組んでいく。	
	実績値	5,344	5,649	2,415	6,476	31	30					
	達成(評価)(C)	－	A	C	A	B	B		88%			
	5年間の 取り組みの 総括 (D・C)	県内ではトップシェアを誇り、安定した需要のある山北みかんについて、加工品による農家所得の向上や産地のPRIによる県 外への発信を行ってきた。その中で、通年での販売につながった「山北みかんジュース」や、メディアにも取り上げられ人気商品 となった「山北みかんバター」といった商品の開発が行われ、「地域就農」を掲げた株式会社山北みらいの設立による後継者育 成の体制づくりも進められた。 今後、加工品の安定した生産や、産地としての後継者問題など課題も残っているが、引き続き、生産者・JA・山北みらい等と 協力し、産地の維持発展に向けた取り組みを検討、実施していく。										

PDCAサイクル: (P) Plan...計画 (D) Do...実行 (C) Check...評価 (A) Action...改善												
戦略の柱	◆取り組みの柱		年度	基準値 (H30年度末)	R2	R3	R4	R5	R6	計(C)	第2期の 達成度合	【今後の取り組み】(A)
	事業名称	目標値									A/B/C	
	○具体的な取組 (P)	実績値										
経営改善 ・ 農地維持に向けた取り組み			年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	計(C)	第2期の 達成度合	【R7年度の取り組み内容】(A)
	6. 農産物の販売力の推進 (ニラ) 【ニラ販売額(千円)】 ※ JA高知県(香南市分) ※ 園芸年度: 前年8月 ~ 7月 (R2)ニラ販売額 (R3)ニラ販売額 (R4)ニラ販売額 (R5)ニラ販売額(系統出荷のみ) (R6)ニラ販売額(系統出荷のみ)	目標値	－	1,500,000	1,600,000	1,600,000	1,000,000	1,000,000	6,700,000	B	R6年度後半の高単価を受けて販売額は上がっているが、これを機にそぐりセンターの更なる積極的な活用を呼びかけるとともに、これまでの新規就農の取り組みも継続して行うことで担い手を確保し、産地の強化を図っていく。	
		実績値	1,170,000 (R元園芸年度)	1,002,722	965,311	864,920	1,051,890	1,355,274	5,240,117			
		達成(評価)(C)	－	C	C	C	A	A		78%		
		5年間の 取り組みの 総括 (D・C)	上記取り組みの他には加工品開発の可能性を模索したり、ニラ塩焼きそばによるPRなども実施してきたが、農家にとって青果での販売が一番収益につながることに、その販売体制が各所で確立されていることから、新たな取り組みが継続されることはなかった。 また、生産者が単価に左右されることで系統外出荷への流出も多く、産地全体としての販売額の把握も困難。本指標による取り組みの難しさを感じた。									
				年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	計(C)	第2期の 達成度合
	7. 中山間地域等直接支払事業 【対象農地面積 (a)】 (R2) 中山間地域等直接支払事業 (R3) 中山間地域等直接支払事業 (R4) 中山間地域等直接支払事業 (R5) 中山間地域等直接支払事業 (R6) 中山間地域等直接支払事業	目標値	－	6,650	6,650	7,500	7,500	7,500	35,800	B	令和7年度からは、第6期対策(R7～R11)として、新たな5年間でスタートする。制度の変更があることから、既存の集落協定向けの説明会を開催し、事業申請に取り組んでいく。 また、広報等で制度の周知を行い、新規の集落協定の掘り起こしに繋げる。	
		実績値	－	6,912	7,134	7,056	7,056	7,073	35,231			
		達成(評価)(C)	－	A	A	B	B	B		98%		
		5年間の 取り組みの 総括 (D・C)	中山間地域等直接支払制度では、令和2年度から令和6年度を第5期対策と位置づけ中山間地域を守る集落を支援している状況である。令和4年度は対象農地の農業振興地域除外により令和3年度と比べ78a面積が減少している。 令和7年度からは、第6期対策として新たな5年間の取り組みが始まる。中山間地域の振興に寄与する事業であることから今後も産業振興計画に位置付けることが必要である。									
				年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	計(C)	第2期の 達成度合
	8. 多面的機能直接支払事業 【対象農地面積 (a)】 (R2) 多面的機能直接支払事業 (R3) 多面的機能直接支払事業 (R4) 多面的機能直接支払事業 (R5) 多面的機能直接支払事業 (R6) 多面的機能直接支払事業	目標値	－	32,930	33,260	33,590	36,720	37,080	173,580	B	既存組織内で面積増加に向けて少しでも構成員の増加を図るよう、R7年度分の交付金手続き(年度初めから活動認定を行う夏頃までの間)の際に来庁した組織の代表者や事務担当者に対して直接呼びかけを行う。 また、活動の継続が困難となってきた組織があるため、継続に向けたサポートとともに、新規組織設立に向けた相談対応や事業説明を行っていく。	
		実績値	－	27,383	27,355	27,762	27,764	26,870	137,134			
		達成(評価)(C)	－	B	B	B	B	B		79%		
		5年間の 取り組みの 総括 (D・C)	令和2年度から令和6年度の5年間の目標値173,580aに対し実績値137,134aでありB評価となった。 実績値としてはR2～R6年度まで構成員等の大きな変動もないため、ほぼ横ばいとなっている現状である。 今後も引き続き、既存組織内で面積増加に向けて少しでも構成員の増加を図るよう、組織の代表者や事務担当者に対して直接呼びかけを行う。再認定に向けての、現地確認(10～12月頃)などの機会を利用し、継続した呼びかけを行う。									
				年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	計(C)	第2期の 達成度合
	9. 有害鳥獣被害対策実施事業 【駆除数(頭羽)】 (R2)捕獲数 (R3)捕獲数 (R4)捕獲数 (R5)捕獲数 (R6)捕獲数	目標値	870	635	735	735	735	815	3,655	B	狩猟者の高齢化に伴う引退や活動の減少は避けられないため、新規狩猟者の確保のため、免許取得に要する経費の一部に対する補助金を市広報などで周知するとともに、既存狩猟者にも、後継者や知人等への声がけを行ってもらおう。また、狩猟免許を新規取得した方も自身の農地を守るだけにとどまる方もおり、地域として積極的に駆除を行ってもらえるよう意識づけをしていく。	
		実績値	679	837	684	850	440	704	3,515			
		達成(評価)(C)	B	A	B	A	C	B		96%		
		5年間の 取り組みの 総括 (D・C)	疥癬タヌキの出没や豚熱の影響などによる環境の変化により捕獲数は増減を繰り返しており、農作物被害の相談や駆除の依頼が多い年は捕獲数も多く、捕獲数が少ない年では被害相談等も減る傾向があるため、目標の達成が必ずしも良いことではなく、その逆も然りといった状況にある。 狩猟者も高齢化が進んでおり、現時点では大きな増減はないものの、今後は被害相談に対応できるだけの担い手確保が課題である。									

PDCAサイクル: (P)Plan...計画(D)Do...実行(C)Check...評価(A)Action...改善												
戦略の柱	◆取り組みの柱		年度	基準値 (H30年度末)	R2	R3	R4	R5	R6	計(C)	第2期の 達成度合	【今後の取り組み】(A)
	事業名称	目標値									A/B/C	
	○具体的な取組 (P)	実績値										
経営改善 ・ 農地維持に向けた取り組み		年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	計(C)	第2期の 達成度合	【R7年度の取り組み内容】(A)	
	10. 有害鳥獣被害防止事業 【柵の設置距離数 (m)】	目標値	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	50,000	B	JAや猟友会等関係機関とも連携し、 駆除の依頼への対応と併せて関係機 関からもその都度当補助金の紹介を 行ってもらうことで、本事業の周知を 行っていく。 R7年度は国費を活用した柵の設置も 予定されているため、そういった事業 の進捗も紹介しながら、地域全体での 被害軽減に向けた取り組みを進めて いく。	
	(R2) 防止柵延長 (R3) 防止柵延長 (R4) 防止柵延長 (R5) 防止柵延長	実績値	9,666	7,006	8,650	7,385	3,836	6,265	33,142			
		達成(評価)(C)	A	B	B	B	C	B		66%		
		5年間の 取り組みの 総括 (D・C)	シカ・イノシシ対策としてのワイヤーメッシュ柵設置を中心に補助金活用が行われ、被害防止のための防護柵が延長されてきた。資材高騰や設置に係る労力など一定の負担も発生しているが、柵を設置することで確実に効果が見込まれるため、今後も継続して補助金活用による柵の設置を推進していくもの。 しかし、各地区内での被害量と被害予測(鳥獣の出没の傾向)などから、柵設置による費用対効果が期待できない場合もあるため、申請時の聞き取り等での状況判断も必要。									
基盤整備・防災への取り組み	◆ 農業生産基盤の充実にに向けた取り組み											
		年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	計(C)	第2期の 達成度合	【R7年度の取り組み内容】(A)	
	1. 耕作条件改善事業 【地区数】	目標値	2	2	3	3	3	3	14	B	白岩地区、須磨地区など前年度まで に取り組みを進めてきた地区について は引き続き事業を推進していくととも に、新規採択に向け相談対応してきた 果樹産地等での取り組みも、県とも連 携を図り取り組んでいく。	
	(R2) 耕作条件改善事業 (R3) 耕作条件改善事業 (R4) 耕作条件改善事業 (R5) 耕作条件改善事業 (R6) 耕作条件改善事業	実績値	2	2	3	3	2	3	13			
		達成(評価)(C)	A	A	A	A	B	A		93%		
		5年間の 取り組みの 総括 (D・C)	基盤整備実施後の地区において、経年劣化により機能維持が困難となった土地改良施設の再整備(用水路の改修やゲート設置等)を行い、農業生産基盤の充実に寄与されている。また本事業の要件でもある農地の集積を進めることで、今後に向けた担い手確保にもつながっている。									
		年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	計(C)	第2期の 達成度合		【R7年度の取り組み内容】(A)
	2. 重油流出防止付燃料タンク 整備事業 【整備数】	目標値	26	20	20	20	20	20	100	C	令和7年度としては、流出防止装置付 き燃料タンク15基、防油堤15基を整備 する予定である。 また、関係機関と連携し燃料販売を行 う事業者や加温品目を栽培される生 産者に事業活用について案内し、津波 浸水想定区域の流出防止装置付きタ ンク普及に繋げる。	
	(R2) タンク整備事業 (R3) タンク整備事業 (R4) タンク整備事業 (R5) タンク整備事業 (R6) タンク整備事業	実績値	19	5	2	7	3	4	21			
		達成(評価)(C)	B	C	C	C	C	C		21%		
		5年間の 取り組みの 総括 (D・C)	目標値80基のところ実績値17基となっており、達成度合が低い状態である。 流出防止付き燃料タンクは南海トラフ地震の二次災害として想定される重油流出のリスク軽減が図れることから、今後も普及が必要。また併せて、既存タンクの削減による重油代替暖房機(LPGボイラー、木質バイオマスボイラーおよびヒートポンプ)の普及についても行い、重油流出のリスク軽減・既存タンクの削減に努める。									

第2期数値目標及びKPI評価書

【林業分野】

数値目標	年度	基準値 (R元年度末)	R2	R3	R4	R5	R6	最終目標 (累計)	第2期の 達成度合	備 考
間伐面積(ha)	目標値	68	25	40	50	65	51	231	B	・目標値、実績値は累積面積 ※R3年度から上方修正 R3: 30 ▷ 40 / R4: 35 ▷ 40 合計 : 185 ▷ 200
	実績値	34.5	25.4	39.5	35.9	29.2	85.1	215.1		※R4年度から再度上方修正 R4: 40 ▷ 50 / R5: 45 ▷ 65 / R6 : 50 ▷ 51 合計 : 200 ▷ 231
	達成 (評価)	C	A	B	B	C	A		93%	

■取り組みの内容について

【 第2期の総括 】

令和2年度から令和6年度の5年間の目標値231haに対し実績値215.1haでありB評価となった。

理由としては、実績値を市補助金(県造林補助金の上乗せ補助であり、事後申請になる。)の申請面積で集計しており、県補助申請が12月末時点の実績で取りまとめるため、実績としては、1月～12月の間伐実施面積となることに加え、事後申請であることから、12月末時点で間伐途中の森林があった場合は、途中までの実績で精算せずにその森林所有者の森林の間伐が全て完了してから、次年度に申請をするため、実績が当初の目標値を満たせない場合があることから実績値が大きく下回る結果となった。

また、R4年度までは香南市における香美森林組合の施業班は1班体制で実施しておりましたが、R5～R6年度については3班体制で実施中であり、補助金申請の時期の関係で、R5年度実績に計上できなかったものについては、R6年度に計上している。

その他にも、保育間伐について、令和2年度より森林環境譲与税を活用し、補助率を100%に改正しており、間伐の促進に繋げることができた。

PDCAサイクル: (P)Plan…計画(D)Do…実行(C)Check…評価(A)Action…改善

戦略 の 柱	◆取り組みの柱	年度	基準値 (H30年度末)	R2	R3	R4	R5	R6	計(C)	第2期の 達成度合	【今後の取り組み】(A)
	事業名称	目標値								A/B/C	
	○具体的な取組(P)	実績値									
森林環境の保全に向けた取り組み	◆ 森林の管理										
		年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	計(C)	第2期の 達成度合	【R7年度の取り組み内容】(A)
	1. 意向調査の実施 【意向調査の面積(ha)】 (R2)意向調査の面積 (R3)同上 (R4)同上 (R5)同上 (R6)同上	目標値	-	30	45.85	120	140	145	480.85	B	新たに香我美町別役地区・夜須町羽尾地区で調査を実施する。 R6年度までに実施した意向調査対象林班において、回答が無かった森林所有者への後追い調査(探索・再送)及び新たな林班で調査を実施する。 【新たな調査地区】 香我美町別役(71林班3小班)、夜須町羽尾(31林班2小班) R8年度以降の意向調査の実施地区については、8年度に香我美町舞川、9年度に香我美町正延にて実施する予定。その後については将来的な間伐実施の計画も踏まえ、林業事業体と意見交換をし、計画していく。
		実績値	-	121.5	26.1	82.3	81.2	89	400.06		
		達成(評価)(C)	-	A	C	B	C	B		83%	
		5年間の 取り組みの 総括 (D・C)	令和2年度から令和6年度の5年間の目標値480.85haに対し実績値400.1haでありB評価となった。 今後は新たに夜須町羽尾地区、香我美町別役地区で調査を実施していく。 R6年度までに実施した意向調査対象林班において、回答が無かった森林所有者への後追い調査(探索・再送)及び新たな林班で調査を実施していく。								
		年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	計(C)	第2期の 達成度合	【R7年度の取り組み内容】(A)
	2. 森林管理制度森林境界明確化 委託事業 【森林境界明確化委託業務面積(ha)】 (間伐事業の実施に向けて任意の境界を確定していく事業) (R2)森林境界明確化委託業務面積 (R3)同上 (R4)同上 (R5)同上 (R6)同上	目標値	170	25	40	40	40	40	185	A	R6年度に意向調査を実施した夜須町沢谷で48ha実施予定。
		実績値	22.7	30.9	42.2	42.0	51.4	51	217.5		
		達成(評価)(C)	C	A	A	A	A	A		118%	
		5年間の 取り組みの 総括 (D・C)	令和2年度から令和6年度の5年間の目標値185haに対し実績値217.5haでありA評価となった。 R2年度から目標値を越える範囲を継続して実施できていることから、今後も引き続き、意向調査を実施した、林班にて森林境界明確化を進めていく。								

PDCAサイクル: (P)Plan…計画 (D)Do…実行 (C)Check…評価 (A)Action…改善

戦略の柱	◆取り組みの柱	年度	基準値 (H30年度末)	R2	R3	R4	R5	R6	計 (C)	第2期の 達成度合	【今後の取り組み】(A)
	事業名称	目標値								A/B/C	
	○具体的な取組 (P)	実績値									

森林環境の保全に向けた取り組み

◆ 間伐事業の実施

	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	計 (C)	第2期の 達成度合	【R7年度の取り組み内容】(A)
1. 間伐事業 (保育・搬出間伐)【ha】 ※元「緊急間伐総合支援事業(保育・搬出間伐)」及び「森林管理制度間伐委託事業(保育間伐)」 (R2) 保育間伐・搬出間伐 (R3) 同上 (R4) 同上 (R5) 同上 (R6) 同上	目標値	68	25	35	50	65	51	226	B	保育間伐及び搬出間伐(香我美撫川、舞川、奥西川、夜須仲木屋)を実施し、森林の持つ公益的機能(水源かん養機能・減災機能・生態系保全機能 等)の維持・増進に繋げる。
	実績値	34.5	25.4	39.5	35.9	29.2	85.1	215.1		
	達成(評価)(C)	C	A	A	B	C	A		95%	
	5年間の 取り組みの 総括 (D・C)	令和2年度から令和6年度の5年間の目標値226haに対し実績値215.1haでありB評価となった。 今後も引き続き、保育間伐・搬出間伐を実施し、森林の持つ公益的機能(水源かん養機能・減災機能・生態系保全機能 等)の維持・増進に繋げていく。								

啓発・普及への取り組み

◆ 山や森林に親しむ機会の提供

	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	計 (C)	第2期の 達成度合	【R7年度の取り組み内容】(A)
1. 木育事業 【実施回数(49回)】 (R2)①0回②9回③1回 (R3)①1回②8回③1回④1回⑤1回 (R4)①3回②6回③2回④1回⑤1回 (R5)①2回②9回③1回④1回⑤1回 (R6)①2回②11回③1回④1回⑤1回 ①木育イベントの開催 ②保・幼・小・中学校での森林体験学習の実施 ③木育事業全般に係る周知活動 ※R5年度から名称変更 ④香南市の森からの贈り物事業(市内の乳児に木のおもちゃを配布) ※R3から目標値に追加 ⑤市内の施設に香南市材を活用した木製おもちゃの贈呈 ※R3から目標値に追加	目標値	－	11	13	13	13	13	63	A	① 木育イベントの開催 ファーストスプーンや木工教室等を開催する。 ② 保・幼・小・中学校での森林体験学習の実施 所属長会での周知及び各保・幼・小・中学校に個別で事業提案し、実施に向けて調整する。 ③ 木育事業全般に係る周知活動 木育事業を広報や市SNSを活用して周知していく。 ④ 香南市の森からの贈り物事業 申請率100%となるようSNS及び広報等で引き続き周知を行い、少しでも多くの乳児に木製玩具を贈呈する。 ⑤ 市内の小・中学校に県産材を活用した木製備品を贈呈 引き続き、小・中学校に要望を募り、木製備品を贈呈する。
	実績値	－	10	12	13	14	16	65		
	達成(評価)(C)	－	B	B	A	A	A		103%	
	5年間の 取り組みの 総括 (D・C)	令和2年度から令和6年度の5年間の目標値63回に対し実績値65回でありA評価となった。 今後も引き続き、木育イベントの開催、保・幼・小・中学校での森林体験学習の実施、木育事業全般に係る周知活動、香南市の森からの贈り物事業事業、市内の小・中学校に県産材を活用した木製備品を贈呈を継続して実施していく。								

第2期数値目標及びKPI評価書

【水産業分野】

数値目標	年度	基準値 (R元年度末)	R2	R3	R4	R5	R6	最終目標 (累計)	第2期の 達成度合	備 考
沿岸漁業総生産額 (百万円)	目標値	－	285	290	295	300	305	1,475	B	高知県漁協(手結・赤岡・吉川)及び漁協水揚げデータに反映されない法人経営体の生産額。 ※H24年度からH30年度までの沿岸漁業総生産額のうち、最大値・最小値を除いた平均値を算出し、伸び率10%(浜の活力再生プラン10%以上向上を引用)を考慮し算出。
	実績値	358	290	254	253	241	315	1,353		
	達成 (評価)	－	A	B	B	B	A		91.7%	

■ 取り組みの内容について

<p>【 第2期の総括 】</p> <p>令和2年度から令和6年度の5年間の目標値1,475百万円に対し実績値1,353百万円でありB評価とした。</p> <p>この5年間は新型コロナウイルスの影響により、養殖産業や外食産業の低迷、黒潮大蛇行による記録的な不漁の続く5年間であった。</p> <p>新型コロナウイルスの影響は緊急事態宣言など外食産業や流通機関など大きく影響したものの、量販店への販売は行えたため、漁を止めることなくある程度の流通は確保できていた。</p> <p>令和3年度から令和5年度は海水温の上昇や黒潮大蛇行の影響を受けて沿岸漁業総生産額が減少したが、令和6年度においては、シイラ及びイワシシラスが好漁であり、特にシイラが平成24年以降一番の水揚額であった。</p> <p>漁港・水産施設の整備については、安心、安全に漁業活動ができるよう概ね計画通り整備できた。また、市内の水産物の魚価向上では、好不漁により左右されるものの目標値は大きく上回っておりますが、手結の加工販売額は右肩上がりではあったが特に令和5年度は不漁により販売額を伸ばすことが出来ませんでした。</p> <p>後継者の育成については、6名の新規就業支援事業を活用しており担い手確保に努めることができたものの漁業者数は減少傾向にある。</p>
--

PDCAサイクル: (P)Plan…計画(D)Do…実行(C)Check…評価(A)Action…改善											
戦略の柱	◆取り組みの柱	年度	基準値 (H30年度末)	R2	R3	R4	R5	R6	計(C)	第2期の 達成度合	【今後の取り組み】(A)
	事業名称	目標値								A/B/C	
	○具体的な取組(P)	実績値									
地産の強化	◆ 生産基盤の充実										
		年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	計(C)	第2期の 達成度合	【R7年度の取り組み内容】(A)
	1. 水産機能施設の整備 【件数】 R2～R6 12件 (R2)補修・改修等 (R3)同上 (R4)同上 (R5)同上 (R6)同上	目標値	10 (延べ)	3	3	3	4	4	17	B	第3期は、老朽化に伴い補修・改修等は増加傾向にあり、整備件数を目標値として掲げ、評価していくことは実情とあっていないため、今後は目標値から削除する。
		実績値	17 (延べ)	3	1	1	4	3	12		
		達成(評価)(C)	A	A	C	C	A	B		71%	
		5年間の 取り組み の総括 (D・C)	設計業務段階で潜水調査が必要となり、当該年度に実施することが出来なかったり、翌年度へ繰り越した事業があったため、達成できなかった年度があったものの、円滑な漁業体制を維持していくため概ね計画通りに整備することができた。								
		年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	計(C)	第2期の 達成度合	【R7年度の取り組み内容】(A)
	2. 漁港施設の整備 水産物供給基盤機能保全事業保全計画 【整備率%】 ※ 9.8/11施設(A判定のみの数) ※ 参考: R元年12月末 6施設/11施設 = 55% (R2)7施設/11施設 (R3)8施設/11施設 (R4)8.5施設/11施設 (R5)9.8施設/11施設 (R6)10.5施設/11施設	目標値	－	64	73	77	82	86	86	A	今後も計画的に実施していくため、沿岸漁業総生産額の数値目標から削除する。
		実績値	50	59	68	68	89	95	95		
		達成(評価)(C)	－	B	B	B	A	A		110%	
		5年間の 取り組み の総括 (D・C)	住吉漁港及び吉川漁港の水産基盤ストックマネジメント事業において、漁港施設の長寿命化工事を計画通り実施できている。今後も水産基盤ストックマネジメント事業は継続し、計画的に実施していくものの補助事業として進めていく。しかしながら、沿岸漁業総生産額の目標達成からの数値目標値から削除する。								
	◆ 漁業者の生産性向上										
		年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	計(C)	第2期の 達成度合	【R7年度の取り組み内容】(A)
	1. 沿岸漁業設備投資促進事業 【件数】1/3件 令和5年度は申請があったものの令和6年度へ繰り越したため0件とした。 (R2)制度策定 (R3)漁船導入事業(漁船リース件数) (R4)同上 (R5)同上 (R6)同上	目標値	－	利子補給 制度策定	1	1	1	1	4	C	漁船導入事業については、(一社)高知県漁業就業支援センター及び希望漁業者と綿密に協議し、事業実施に努めていく。
		実績値	－	利子補給 制度策定 (コロナ関連)	0	1	0	1	2		
		達成(評価)(C)	－	－	C	A	－	A		50%	
		5年間の 取り組み の総括 (D・C)	令和2年度は漁業者等が行う施設等の整備等の際の借り入れに対して利子補給を実施する制度を策定し、令和3年度からの漁船導入や設備に対応した支援を行い、より機能が向上する漁船を活用することで、沿岸漁業総生産額の向上につながった。								

PDCAサイクル: (P)Plan...計画 (D)Do...実行 (C)Check...評価 (A)Action...改善												
戦略の柱	◆取り組みの柱		年度	基準値 (H30年度末)	R2	R3	R4	R5	R6	計(C)	第2期の 達成度合	【今後の取り組み】(A)
	事業名称	目標値									A/B/C	
	○具体的な取組 (P)	実績値										
流通・販売の強化			年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	計(C)	第2期の 達成度合	【R7年度の取り組み内容】(A)
	1. 市内水産物の魚価向上 【平均kg単価 (円/kg)】 (R2) 平均kg単価 (R3) 同上 (R4) 同上 (R5) 同上 (R6) 同上 ※基準値 H30年度の実績値は、H24からH30の7年度の うち、最大値と最小値を除いた5か年の 平均単価。	目標値 (シイラ)	－	138	141	144	147	150	150	A	平均単価は自然現象により好不漁は 左右されるが、デジタル化等の導入に よる安定化、また、市内飲食店からの 情報発信など市内水産物をPRしてい く。	
		目標値 (イワシシラス)	－	361	368	375	383	390	390			
		実績値 (シイラ)	135	93	207	178	251	178	178			
		実績値 (イワシシラス)	354	369	313	557	754	684	684			
		達成(評価)(C)	－	B	A	A	A	A		119%		
		達成(評価)(C)	－	A	B	A	A	A		175%		
		5年間の 取り組み の総括 (D・C)	平均kg単価は好不漁に左右されるが、令和3年度から不漁が続いたため平均単価が上昇した。しかし、令和6年度は好漁であり、若干単価は減少したものの目標値は達成している。									
			年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	計(C)	第2期の 達成度合	【R7年度の取り組み内容】(A)
	2.高知県漁協手結支所の販売額 【販売額: 万円】 県内外の取引先との取引継続 (R2) 手結支所の販売額 (R3) 同上 (R4) 同上 (R5) 同上 (R6) 同上	目標値	3,000	5,100	5,200	5,300	5,400	5,500	5,500	C	現在までの販売に加え、設備導入による 冷凍品の品質向上、処理能力向上 により取扱量の増加を可能にし、市内 外へ販路を拡大する。	
		実績値	6,328	4,055	3,635	5,615	2,147	2,119	2,119			
		達成(評価)(C)	A	B	B	A	C	C		39%		
		5年間の 取り組み の総括 (D・C)	県版HACCP取得や自動真空包装機をR2年度に導入し、販売額も伸びてきたものの、R5年度は記録的な不漁で販売額を伸ばすことができなかった。 R6年度は好漁であったが、水揚げが多い6月から8月に、他県で不漁となったことが影響し、県外からの仲買人等の購入等もあり、単価が向上したことから、漁業従事者の所得向上にはつながったものの、漁協としての落札件数が減少し、販売額は減少した。									
			年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	計(C)	第2期の 達成度合	【R7年度の取り組み内容】(A)
	3.シラス加工品販売額 【販売額: 万円/社】	目標値	目標値は設定しないが、引き続き 支援策の情報提供を 実施していく。								加工業者が少ないことから、目標値を 設定すると加工業者の情報が見えてし まう恐れがあることから設定はしない ため、第3期は数値目標から削除す る。	
		実績値										
		達成(評価)(C)										
		5年間の 取り組み の総括 (D・C)	県版HACCP取得など行っているが、加工業者が少ないことから、目標値を設定すると加工業者の情報が見えてしまう恐れがあることから設定はしない。									
◆ 学校給食等への納入												
		年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	計(C)	第2期の 達成度合	【R7年度の取り組み内容】(A)	
1-1. 学校給食等への納入 (かちりじゃこ) 【納入回数(回)】 (R2) 納入回数 (R3) 同上 (R4) 同上 (R5) 同上 (R6) 同上	目標値	－	16	20	60	60	60	216	A	市内水産物のかちりじゃこの納入を継 続し、納入回数についても現状を維持 していく。		
	実績値	－	58	73	81	76	63	351				
	達成(評価)(C)	－	A	A	A	A	A		163%			
	5年間の 取り組み の総括 (D・C)	令和2年度に給食センターへ納入できるよう調整を行った。 かちりじゃこは和え物等の複数の献立に使用されることもあり、目標達成できた。令和6年9月に赤岡・吉川給食センターがこう なん給食センターへ統合されたため納入回数は若干減少したものの、目標値は達成できており、5年間での達成率は163%と なった。										
		年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	計(C)	第2期の 達成度合	【R7年度の取り組み内容】(A)	
1-2. 学校給食等への納入 (シイラ) 【納入回数(回)】 (R2) 納入回数 (R3) 同上 (R4) 同上 (R5) 同上 (R6) 同上	目標値	11	22	23	23	24	24	116	B	市内水産物のシイラの納入を継続し、 納入回数についても現状を維持してい く。		
	実績値	22	20	17	27	24	12	100				
	達成(評価)(C)	A	B	B	A	A	C		86%			
	5年間の 取り組み の総括 (D・C)	シイラフライを使用しているが、白身魚など他にも魚種があり栄養面や献立によっては使用できない年もあった。 令和3年度は新型コロナウイルスにより養殖魚を優先して使用する動きがあったため、達成できず、令和6年度は給食センター の統合があったため、納入回数が減少した。										

PDCAサイクル: (P)Plan…計画 (D)Do…実行 (C)Check…評価 (A)Action…改善											
戦略の柱	◆取り組みの柱	年度	基準値 (H30年度末)	R2	R3	R4	R5	R6	計(C)	第2期の 達成度合	【今後の取り組み】(A)
	事業名称	目標値								A/B/C	
	○具体的な取組 (P)	実績値									
担い手の確保	◆（一社）高知県漁業就業支援センターとの連携による担い手確保										
		年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	計(C)	第2期の 達成度合	【R7年度の取り組み内容】(A)
	1. 担い手の確保事業 （自営漁業者育成事業） （漁家子弟支援事業） （雇用型漁業支援事業） 【就業者数:人】 (R2)雇用型漁業支援事業 (R3)漁家子弟支援事業 (R4)雇用型漁業支援事業 (R5)雇用型漁業支援事業 (R6)雇用型漁業支援事業	目標値	1	1	1	1	1	1	5	A	(一社)高知県漁業就業支援センターと 連携しフェアを開催し、就業希望者等 へ広く周知していく。
		実績値	0	1	2	2	1	0	6		
		達成(評価)(C)	C	A	A	A	A	C		120%	
		5年間の 取り組み の総括 (D・C)	令和2年度には、各種支援制度の説明会の開催し、(一社)高知県漁業就業支援センターのHPへ香南市内の漁業者募集案内の掲載やフェアの開催など担い手確保の活動を行ったことにより、概ね目標達成することができた。								

第2期数値目標及びKPI評価書

【商業分野】

数値目標	年度	基準値 (R元年度末)	R2	R3	R4	R5	R6	最終目標 (累計)	第2期の 達成度合	備 考
商業者数 (事業所)	目標値	－	813	773	768	763	758	758	B	香南市商工会が毎年高知県へ報告している日本標準産業分類(大分類)のF～O・Q・Rに分類される事業所数。 ▷H30年度に市商工会が高知県に報告を行った事業者数を基準値とし、そこから目標値の設定を行ったが、新型コロナウイルス感染症に関する周知等を行った際に、連絡が取れない等の事業者が見受けられたことから、R2年度に商工会による事業者の確認調査が実施された。 その結果、すでに廃業・店舗がなくなっている非会員事業者が多かったことがわかり、R3年度に数値目標を再設定。
	実績値	813	778	777	768	770	753	753		
	達成 (評価)	－	－	A	A	A	B		99.3%	
新規事務系企業数 (企業/年)	目標値	－	2	2	2	2	2	10	C	香南市内の空き店舗等を活用し、市内住民を雇用することを前提に、首都圏等から進出していただく新規事務系企業数。
	実績値	－	1	0	1	1	0	3		
	達成 (評価)	－	C	C	C	C	C		30.0%	

■取り組みの内容について

【 第2期の総括 】

令和6年度末に商業者数の大きな減少があり、目標達成とはならなかった。毎年度廃業に至っている事業者も多いため、空き店舗の有効活用も見据えた新規創業を推進していくのみでなく、既存事業者が廃業に至らないよう、商工会や事業承継・引継ぎ支援センター等の関係機関とも連携しながら、地域経済の活性化に繋がる取組を継続していく必要がある。また、創業者支援の取組として、空き店舗等対策事業費補助金の活用実績が伸びてきているため、今後も各施策の周知等を積極的に図り、空き店舗の有効活用も見据えた、市内での新規創業を促進し、商業者数の維持に繋げていきたい。

新規事務系企業誘致については、目標値には達していないものの、4年間で3件の誘致に繋がり、市内における新規雇用、ひいては地域経済への波及効果ももたらすことができた。今後も、取組を進めていく予定ではあるが、誘致するための空き物件確保が課題となっているため、状況に応じたアプローチを行っていく必要がある。

PDCAサイクル: (P)Plan…計画(D)Do…実行(C)Check…評価(A)Action…改善

戦略の柱	◆取り組みの柱	年度	基準値 (H30年度末)	R2	R3	R4	R5	R6	計(C)	第2期の 達成度合	【今後の取り組み】(A)
	事業名称	目標値								A/B/C	
	○具体的な取組(P)	実績値									

空き店舗活用に向けた取り組み

◆ 空き店舗対策	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	計(C)	第2期の 達成度合	【R7年度の取り組み内容】(A)
1. 商店街等振興計画の策定 【計画策定】 (R4)計画策定 (R5)計画に基づくイベント開催数 (R6)同上	目標値	－	計画策定	計画策定	計画策定	3	3	－	B	これまでの取組も踏まえた、開催内容の磨き上げ、実行体制の強化を図りながら、地域事業者を主体として、地域商業の活性化に繋げていけるよう、取組を推進していく。 ※第3期では、指標を「中心市街地活性化計画の実行推進【計画エリア内の店舗数】」とする
	実績値	－	－	未策定	計画策定	2	2	－		
	達成(評価)(C)	－	－	－	A	B	B		－	
【実施主体】 香南市 香南市商工会 地域商業者	5年間の 取り組みの 総括 (D・C)	新型コロナウイルス感染症の影響による事業者支援事業等の優先により、当初の予定より大幅に遅れての着手とはなったが、令和4年に「香南市中心市街地活性化計画」を策定。その後、各取組のグループ毎に打合せ等を行い、R5・6年度において、回遊の仕組みづくりを目的とした「スイーツスタンプラリー」、中心市街地の魅力向上を目的として、市内事業者のPR機会を設けた「フジグラン野市とのコラボ企画」を開催し、市内事業者の認知度向上に一定寄与することができた。 今後も、地域事業者を主体として、地域商業の活性化に繋げていけるよう取組を推進予定ではあるが、計画策定時より「実施主体」が課題となっており、補助金活用可能期間(R5～7)終了後における収支面での自立も含めて、実行体制の強化が必要。								
	年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	計(C)	第2期の 達成度合	【R7年度の取り組み内容】(A)
2. 空き店舗実態調査の実施 【調査実施】	目標値	－	調査実施	調査実施	調査実施	－	－	－	A	調査内容のとりまとめを実施する。
	実績値	－	－	調査実施	調査実施	調査は完了したため、 R4年度までとする				
	達成(評価)(C)	－	－	－	A	－	－		－	
【実施主体】 香南市 香南市商工会	5年間の 取り組みの 総括 (D・C)	R3～4にかけて市内全域の空き店舗調査を実施し、実態の把握を行うことができた。商業集積地(赤岡・野市・夜須)における空き店舗の実態については、毎年商工会が実施している「地域商業実態調査」(県照会)の中で把握ができるため、今後は当該調査結果の詳細について適宜情報共有をしてもらい、活用可能な空き店舗情報の集約に努めていく。								

戦略の柱	◆取り組みの柱		年度	基準値 (H30年度末)	R2	R3	R4	R5	R6	計(C)	第2期の 達成度合	【今後の取り組み】(A)	
	事業名称	目標値									A/B/C		
	○具体的な取組(P)	実績値											
空き店舗活用に向けた取り組み			年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	計(C)	第2期の 達成度合	【R7年度の取り組み内容】(A)	
	3. 空き店舗バンク事業 【登録件数:累計(件)】 ※「空き店舗バンク」という形態ではなく、市内不動産会社が所有している情報の提供場所を増やすことで、より効果的に空き店舗の有効活用へ繋げることを狙いとして取り組んでいく。	目標値	-	創設	5 (延べ)	10 (延べ)	15 (延べ)	20 (延べ)	20	C	不動産会社等に対して本取組への協力を依頼し、掲載物件数の増を図る。また、商工会等とも連携し、空き店舗を探している方々への周知も行い、マッチングに繋がるよう努めていく。		
		実績値	-	-	-	-	6	8	8				
		達成(評価)(C)	-	-	-	-	C	C		40%	※第3期では、指標より外す		
	【実施主体】 香南市 香南市商工会	5年間の 取り組みの 総括 (D・C)	「空き店舗バンク」という形態ではないものの、市HPを通した空き店舗情報の発信は一定行えるようになったが、まだ掲載件数が少ない状況である。 今後も、商工会や市内不動産会社とも連携しながら市内空き店舗情報の集約に努め、創業希望者への紹介等、効果的に空き店舗の有効活用へ繋げられるよう取り組んでいく。										
			年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	計(C)	第2期の 達成度合	【R7年度の取り組み内容】(A)	
	4. 空き店舗等対策事業 (空き店舗等対策事業費補助金) 【補助金利用件数(件)】	目標値	2	2	2	2	2	2	2	10	B	今後も、支援策の周知に努めるとともに、市商工会等と連携し、創業時の経営計画策定や手順等について支援を行い、空き店舗を活用した創業につなげる。	
		実績値	1	0	0	1	3	3	7				
		達成(評価)(C)	C	C	C	C	A	A		70%			
	【実施主体】 香南市 香南市商工会	5年間の 取り組みの 総括 (D・C)	商工会とも連携した施策紹介や、R3・4年度に実施した要綱改正の効果もあり、R4年度以降は活用実績が伸びている。 今後も、市内空き店舗の有効活用及び創業を考えられている方の支援に繋がるよう、施策の広報に努め、活用を推進していく。										
			年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	計(C)	第2期の 達成度合	【R7年度の取り組み内容】(A)	
	5. 空き店舗等を活用した新規事務系企業の誘致 【誘致企業数(件)】	目標値	-	2	2	2	2	2	2	10	C	オンライン会議と企業訪問により、継続した企業誘致活動を展開するとともに、立地企業が行う人材募集等に関して支援(市HPや広報誌への情報掲載等)を実施していく。	
		実績値	-	1	0	1	1	0	3				
		達成(評価)(C)	-	C	C	C	C	C		30%			
	【実施主体】 香南市	5年間の 取り組みの 総括 (D・C)	目標値には達していないものの、関係機関や県等との連携により、5年間で計3件の新規事務系企業の誘致に繋がり、市内における新規雇用、ひいては地域経済への波及効果ももたらすことができた。今後も、包括連携協定を締結しているインシ株式会社とも連携しながら取組を進めていく予定ではあるが、誘致するための空き物件確保が課題となっているため、先方のニーズ等も鑑みながら、状況に応じたアプローチを行っていく必要がある。										
担い手の確保に向けた取り組み	◆ 担い手の確保・育成												
		年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	計(C)	第2期の 達成度合	【R7年度の取り組み内容】(A)		
	1. 事業承継の推進 【事業承継事業者数(人)】 (R2) アンケート調査等 (R3) 事業承継事業者数 (R4) 同上 (R5) 同上 (R6) 同上	目標値	-	アンケート調査等	1	6	6	6	19	A	事業承継に関する情報を市広報誌等を活用して発信することで、事業承継の取組に対する意識向上を図る。また、R7年度に創設する「事業承継等推進事業費補助金」(高知県事業承継等推進事業費補助金と合わせた支援)の活用促進も図りながら、商工会や事業承継・引継ぎ支援センターとも連携し効果的な取組内容の引き続き検討していく。		
		実績値	-	-	2	2	9	7	20				
		達成(評価)(C)	-	-	A	C	A	A		105%			
	【実施主体】 香南市 香南市商工会	5年間の 取り組みの 総括 (D・C)	親族承継をする事業者のタイミングが重複したこと等もあり、累積の実績値としては目標達成となっているが、廃業に至っている事業者も毎年一定数存在するため、今後も事業承継に対する意識向上を図る取組を進めていく必要がある。 また、商工会では事業承継ヒアリング(内容:後継者の有無・承継に向けた準備の有無・相談相手の有無等)も実施されているため、適宜情報共有をしてもらい、市として新たに取組むことのできる施策等がないか検討していく。 ※なお、実績値の計上方法として、第3期では、関係機関(商工会または事業承継引継ぎ支援センター)による介入があったケースを計上することとする。										
		年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	計(C)	第2期の 達成度合	【R7年度の取り組み内容】(A)		
	2-1. 香南市未来人材育成奨学金返還助成事業 (香南市未来人材育成奨学金返還助成事業費補助金) 【利用件数(件)】	目標値	10	5	5	5	5	5	25	C	人口減少・市外への人材流出抑制のため、R7年度より、助成対象者要件の緩和及び助成額等の拡充を行うことから、利用件数の増を見込んでいる。申請対象者が簡単に情報を取得できるよう、他課とも連携した事業周知の方法を検討していく。		
		実績値	0	0	5	2	4	2	13				
		達成(評価)(C)	C	C	A	C	B	C		52%			
	【実施主体】 香南市	5年間の 取り組みの 総括 (D・C)	R2年度に対象者拡充の要綱改正を行ったことで、認定申請者が増加し、R3～6年度は継続的に新規認定を行うことができた。香南市在住で香南市の企業で働く方への補助金であり、今後の香南市の人材確保に大きく貢献できる事業のため、今後はHPや広報だけでなく、SNS等も活用して若年者に事業内容が伝わるような周知活動が必要であると考え。 また、香南市未来人材育成奨学金返還助成事業については商業分野・工業分野の両方に項目設定されているが、第3期より商業分野のみへの掲載とする。										

戦略の柱	◆取り組みの柱		年度	基準値 (H30年度末)	R2	R3	R4	R5	R6	計(C)	第2期の 達成度合	【今後の取り組み】(A)
	事業名称	目標値									A/B/C	
	○具体的な取組(P)	実績値										
担い手の確保に向けた取り組み			年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	計(C)	第2期の 達成度合	【R7年度の取り組み内容】(A)
	2-2.人材ニーズの掘り起こし及び発信 【仕事情報件数(件)】	目標値	－	5	5	5			－		必要に応じて、適宜関係機関等との連携はとるが、 本計画の項目からは外すこととする。	
		実績値	－	－	－	－						
		達成(評価)(C)	－	－	－	－						
	【実施主体】 香南市	5年間の 取り組みの 総括 (D・C)	市商工会の巡回指導時等に同行して企業訪問を行い、人材ニーズの掘り起こし等を行う予定であったが、実施に至ることができなかった。市内事業者等からヒアリングした人材ニーズについては、適宜関係機関へ繋ぐ等の取組を今後も行っていくが、独自の発信等は実施予定なし。									
			年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	計(C)	第2期の 達成度合	【R7年度の取り組み内容】(A)
	3. 創業支援事業 【創業者数(人)】	目標値	－	6	6	6	6	6	30	A	創業者にとって、創業時に必要な経営・財務・人材育成・販路開拓に関する基礎等を習得し、持続可能な経営を行っていくための1つのツールとして、創業希望者への周知を図っていく。 ※R7年度:創業支援等事業計画を更新予定	
		実績値	－	11	3	6	11	5	36			
		達成(評価)(C)	－	A	C	A	A	B		120%		
	【実施主体】 香南市 香南市商工会	5年間の 取り組みの 総括 (D・C)	創業希望者に対する創業支援等事業計画(商工会や金融機関といった創業支援事業者と市が連携し、創業者や創業後間もない方を支援する計画であり、本計画に基づく認定を受けた事業者は、法人登録免許税の減免等のメリットを受けられる)の案内は適宜行っているが、特に小規模の個人事業者にとってはメリットがほとんどないこともあり、R3年度以降は認定実績がない状況。 今後も、商工会等とも連携しながら、空き店舗等対策事業費補助金や創業支援利子補給金等と併せて、創業時に必要な経営・財務・人材育成・販路開拓に関する基礎等を習得し、持続可能な経営を行っていくための1ツールとして、創業希望者への周知を図っていく必要がある。 ※なお、実績値の計上方法として、第3期では認定創業支援等事業計画にかかる実績報告(市または商工会への事前相談があった創業者及び土佐MBAを受講した創業者数)の対象者を計上することとする。									
			年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	計(C)	第2期の 達成度合	【R7年度の取り組み内容】(A)
	4. 創業支援利子補給金事業 【利用件数】	目標値	3	3	3	3	3	3	15	A	引き続き、商工会や金融機関と連携し、制度の活用を促すとともに、創業予定の方、興味を持っている方に対して、幅広く周知できるような取組を行っていく。 ※第3期では、指標より外す	
		実績値	2	3	2	3	3	4	15			
		達成(評価)(C)	B	A	B	A	A	A		100%		
	【実施主体】 香南市	5年間の 取り組みの 総括 (D・C)	市内金融機関から創業向け融資を受けた創業者が支払った利子のうち、年利1%に相当する額を補給するもので、8事業者(延べ11件の交付)に対して、資金繰りの面で支援をすることができた。引き続き、商工会や金融機関と連携し、制度の活用を促すとともに、創業予定の方、興味を持っている方へ幅広く周知できるような取り組みを行っていく必要がある。									
商業支援	◆ 商業支援											
			年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	計(C)	第2期の 達成度合	【R7年度の取り組み内容】(A)
	1. 中小企業者等保証料補給金事業 元「緊急融資保証料補給金事業」 【新規利用件数(件)】	目標値	－	1	1	10	10	10	32	C	新規認定はR6年度末までとなったが、これまでの認定者に対する保証料補給を継続して行っていく。 ※第3期では、指標より外す	
		実績値	－	－	1	2	1	4	8			
		達成(評価)(C)	－	－	A	C	C	C		25%		
	【実施主体】 香南市 高知県信用保証協会	5年間の 取り組みの 総括 (D・C)	R4年度から対象融資の拡充を行ったが、利用件数は少ない状況(対象融資の借入自体が少ない)が続いてきたこともあり、制度を拡充した当初の予定通り、新規認定自体はR6年度末までで終了とした(これまでの認定者に対する保証料補給は継続)。									
			年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	計(C)	第2期の 達成度合	【R7年度の取り組み内容】(A)
	2. 各種セミナーの開催 【開催数(回)】	目標値	－	2	2	2	2	2	10	A	今後も、事業者のニーズや時代に合わせたセミナーの開催を検討していく。 ※第3期では、指標より外す	
		実績値	－	2	0	3	4	1	10			
		達成(評価)(C)	－	A	C	A	A	B		100%		
	【実施主体】 香南市 香南市商工会	5年間の 取り組みの 総括 (D・C)	市や商工会主催による事業者向けセミナーを開催し、経営者や従業員のスキルアップを図ることができた。 今後も、事業者のニーズや時代に合わせたセミナーの開催を検討していく。									

戦 略 の 柱	◆取り組みの柱		年度	基準値 (H30年度末)	R2	R3	R4	R5	R6	計(C)	第2期の 達成度合	【今後の取り組み】(A)	
	事業名称	目標値									A/B/C		
	○具体的な取組(P)	実績値											
商 業 支 援			年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	計(C)	第2期の 達成度合	【R7年度の取り組み内容】(A)	
	3. 香南カーニバル事業 【参加店舗数(軒)】	目標値	45	45	200	検討	検討	検討	245	A	市内事業者の経営状況の把握に努め、必要に応じて、商工会と検討を行う。 ※第3期では、指標より外す		
		実績値	45	82	224	-	-	-	306				
		達成(評価)(C)	A	A	A	-	-	-		125%			
	【実施主体】 香南市商工会 地域事業者	5年間の 取り組みの 総括 (D・C)	商業の活性化を目的に、主に飲食店を中心に短期間のグルメイベント「香南カーニバル」を開催し、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた地元事業者の売上増加に繋げることができた。 R4年度以降は、給付金等の形で事業者支援施策に取り組んだこともあり、カーニバル事業の開催は非実施。今後も事業者の経営状況の把握等に努め、必要な施策の検討を行っていく必要がある。										
			年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	計(C)	第2期の 達成度合	【R7年度の取り組み内容】(A)	
	4. 地場産品販売促進事業 【カタログ販売額+ふるさと応援寄付金事業 (事業者売上額:千円)】	目標値	104,000	109,400	114,600	119,800	125,000	130,200	599,000	A	今後も、イベント等でのPRを継続して実施していくとともに、ECサイトの内容拡充やふるさと納税関係事業者へのサポート等に努め、地元事業者の売上増を目指す。 ※第3期では、指標を「ふるさと応援寄付金額」とする		
		実績値	119,752	169,661	110,158	112,398	132,935	144,196	669,348				
		達成(評価)(C)	A	A	B	B	A	A		112%			
	【実施主体】 香南市観光協会 香南市	5年間の 取り組みの 総括 (D・C)	カタログ事業、ふるさと応援寄付金事業ともに、新規事業者の参画呼びかけや新商品、季節商品の充実を図ることで、新規顧客やリピーターの獲得に繋がり、地域事業者の売上にも寄与することができた。 今後も、関係事業者へのサポート等に努め、地元事業者の売上増加に繋がるよう取り組んでいく。										
			年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	計(C)	第2期の 達成度合	【R7年度の取り組み内容】(A)	
	5. 住宅リフォーム推進事業 (香南市住宅リフォーム補助金) 【補助金額を含むリフォーム総事業費 (万円)】	目標値	-	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	50,000	A	R7年度については、予算枠に対してより多くの方に補助金を利用していただくため、補助金額を工事費用の15%(上限150万円)に改正している。また、開始から10年を経過しており、市内経済の発展に一定寄与する取組となったと考えており、R8年度以降の事業継続を検討していく必要がある。 ※第3期では、指標より外す		
		実績値	11,100	11,263	11,446	11,363	9,863	13,439	57,374				
		達成(評価)(C)	-	A	A	A	B	A		115%			
	【実施主体】 香南市	5年間の 取り組みの 総括 (D・C)	市内に所有し、居住する個人住宅を対象に、住宅のリフォーム工事費用の20%(上限200千円)を補助するもので、住民への補助制度の周知が進んだことにより、利用率も高く、人気の高い取り組みとなっている。工事施工にあたっては市内事業者を活用することが補助要件の一つとされているが、5年間で計95事業者への工事発注(のべ183件)、合計約574百万円の売上に繋がっており、市内経済の発展にも大きく寄与している。										

数値目標	年度	基準値 (R元年度末)	R2	R3	R4	R5	R6	最終目標 (累計)	第2期の 達成度合	備 考
製造品出荷額 (億円)	目標値	500	360	380	400	420	440	R2～R5 1,560	B	工業統計調査 (調査年は前年度の製造品出荷額) ※R元年工業統計結果(速報)の製造品出荷額344億円から、R2年度以降に操業開始を予定している企業の事業計画による見込みと、第2期からの支援施策による増加分を見込んだもの。
	実績値	344	344	380	295	387	－	R2～R5 1,406		
	達成 (評価)	B	B	A	B	B	－		90.1%	
新規雇用者数 (人)	目標値	－	5	8	19	16	15	63	A	市内立地企業に新たに雇用された市内在住の人数 ※立地企業の事業計画に基づく予定雇用者数の内、現在雇用している方を差し引いた人数の半数以上が地元雇用者と仮定し、地元雇用者数の70%を見込んだもの。 ※R2.R3年度の実績に齟齬があり修正。
	実績値	－	21	29	17	11	9	87		
	達成 (評価)	－	A	A	B	B	B		138.1%	

■取り組みの内容について

<p>【 第2期の総括 】</p> <p>製造品出荷額については、R3年度は前年度比＋36億円であったがR4年度に前年度比－85億となっており、国・県に原因を確認したが、特定は困難であった。しかし、令和5年度については、387億円と数値が回復しており、統計上のミスである可能性が考えられる。今後は、市内立地企業に対して市独自に調査をおこない、バックデータを持つなど、数値の増減に対して一定の範囲で説明が出来るような仕組みづくりが必要があると考える。</p> <p>新規雇用者数については、年度ごとにムラがある。これについては、計画していた新規事業に前倒しで取り組むこととなったため、雇用についても前倒しでおこなう運びとなり、これがR4～R6に比べてR2～3年度の新規雇用者数が多い理由となっている。</p> <p>人数については、5年間で目標値63人に対して実績値87人と大幅に上回っているが、企業訪問等を通して企業の人材不足や外国人雇用問題等、新たな課題も浮彫になってきているため、人材確保を支援する新たな施策を検討する必要性があると考える。</p>
--

PDCAサイクル: (P)Plan…計画 (D)Do…実行 (C)Check…評価 (A)Action…改善											
戦略の柱	◆取り組みの柱	年度	基準値 (H30年度末)	R2	R3	R4	R5	R6	計(C)	第2期の 達成度合	【今後の取り組み】(A)
	事業名称	目標値								A/B/C	
	○具体的な取組 (P)	実績値									
企業誘致の促進	◆ものづくりの基盤整備										
		年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	計(C)	第2期の 達成度合	【R7年度の取り組み内容】(A)
	1. 新規工業団地整備事業 【工業団地の選定】R2 【造成基本設計】R3	目標値	－	候補地 選定 適地調査	造成基本 設計	共同開発 に関する 協定締結	測量 造成実施 設計	用地買収		－	
		実績値	－	適地調査 完了	造成基本 設計完了	事業の中止と判断されたため、 R3年度までとする。					
		達成(評価)(C)	－	A	A	－					
	【実施主体】 香南市 高知県	5年間の 取り組みの 総括 (D・C)	【R2年度】 ・新規工業団地を整備するため適地調査を実施し、候補地の選定を行う。 ⇒工業団地適正地検討資料作成委託業務 【R3年度】 ・適地調査で選定された5箇所の候補地より、香我美町下分地区を最終候補地に選定。 ・最終候補地(香我美町下分地区)の選定と造成基本設計について地権者や関係機関に説明会を開催。 ※以下の①～⑥を開催 ① 議員全員協議会での説明(4/23) / ② 山南土地改良区への説明会(7/2) ③ 山南まちづくり協議会への説明会(7/4) ④ 地権者等への説明会(7/12) / ⑤ 山南土地改良区への事業進捗説明会(12/8) ・農地区分や法規制の確認を行ったうえで造成基本設計に着手。 ⇒R4.3.14完了 【R4年度】 ・再検証の結果、事業中止となる。 ・事業中止について、地権者や関係機関に説明会を開催 5/23…議員全員協議会での説明 5/29…山南まちづくり協議会への説明 6/7…所属長会(市教育委員会)での説明 6/15…山南土地改良区への説明・地権者等への説明								

PDCAサイクル: (P)Plan…計画(D)Do…実行(C)Check…評価(A)Action…改善												
戦略の柱	◆取り組みの柱		年度	基準値 (H30年度末)	R2	R3	R4	R5	R6	計(C)	第2期の 達成度合	【今後の取り組み】(A)
	事業名称	目標値									A/B/C	
	○具体的な取組(P)	実績値										
企業誘致の促進		年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	計(C)	第2期の 達成度合	【R7年度の取り組み内容】(A)	
	2. 香南市企業立地促進事業 【条例改正】R2 【利用件数(件)】R3	目標値	条例 策定	条例 改正	1	1	1	1	4	C	操業に向けて動いている企業が1社あるが、予定時期が少しずつ延長しているため、進捗確認を適宜行う。企業誘致については、現状誘致できる土地が無いため、土地の調査等については継続的に行い、用地取得の支援に努める。事業自体は継続するが、R7年度からは指標からは外す。	
		実績値	策定	制定	2	-	-	0	2			
		達成(評価)(C)	A	A	A	-	-	-		50%		
	【実施主体】 香南市	5年間の 取り組みの 総括 (D・C)	企業立地促進事業費補助金の効果により、企業立地・活用に繋げることができた。R5年度には、交付要件を満たした、(株)ミツトヨ及び暁産業(株)への補助金交付に繋がった。今後は立地企業に対しての用地取得の支援はもちろん、既存企業の支援についても積極的な取組が必要と考える。									
既存企業の育成・支援												
		年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	計(C)	第2期の 達成度合	【R7年度の取り組み内容】(A)	
	1. 商談会開催事業 【商談件数(件)】 ※R2年度よりKPIに追加	目標値	-	50	50	50	50	50	250	A	高知県産業振興センターと引き続き連携し、事業者の受注拡大・販路拡大に努める。また、企業訪問の際に事業の周知等をおこない、出来るだけ多くの市内立地企業が参加出来るような体制を整える。	
		実績値	-	30	19	65	63	76	253			
		達成(評価)(C)	-	B	C	A	A	A		101%		
	【実施主体】 香南市 (公財)高知県産業振興センター	5年間の 取り組みの 総括 (D・C)	R2～R6の5年間で、県内外併せて253件の商談会を実施した。R2・3年度はコロナの影響もあり対面での商談会の開催が難しく、目標件数の達成が出来ていないが、R4・5年度はコロナの影響が少なく、目標件数を大きく超える開催が出来、5年間の商談会開催数としては目標値を達成することができた。 商談会を通しての企業同士のマッチングは香南市の企業の受注拡大・販路拡大に大きく寄与することが予想され、第3期も継続しておこなう必要がある。									
		年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	計(C)	第2期の 達成度合	【R7年度の取り組み内容】(A)	
	2. 中小企業者の生産性向上支援事業 【先端設備等導入計画認定件数(件)】	目標値	30	30	30	30	15	15	120	C	R7年度より、固定資産税の減免を受ける際は賃上げ表明が必須となった。変更点等を事業者にも周知し、より多くの活用を促す。今期はSNS等も活用し、幅広く案内をし、市内事業者のニーズに応える。	
		実績値	8	16	11	7	11	8	53			
		達成(評価)(C)	C	C	C	C	B	C		44%		
	【実施主体】 香南市	5年間の 取り組みの 総括 (D・C)	立地企業交流会及びものづくり会との合同交流会等で事業案内を行い、市内企業に対して周知活動を行ったがR2～R6年度の5年間で目標値120件に対して53件という結果になった。既に認定を受けている企業が変更認定を受け、補助金を活用いただく事例も多く、新規計画認定件数が伸び悩んだことが要因の1つと考えられる。 補助金を活用いただいた企業に対して支援・補助ができたことは良かったと考えるが、交流会等に限らず、企業訪問も積極的に行い、周知活動の幅を広げる必要がある。									
		年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	計(C)	第2期の 達成度合	【R7年度の取り組み内容】(A)	
	3. 香南市産業人材育成事業 (香南市産業人材育成事業費補助金) 【利用件数(件)】	目標値	10	5	5	5	5	5	25	B	R7年度より、事業内容が一部改正され、1事業者あたりの上限が10万円となり、対象経費から旅費が削除されたが、対象経費の1/2という条件が撤廃されることになった。従業員に業務に関連する研修を受講させる企業は多いと思われるため、今後も継続的な周知・案内を徹底する。	
		実績値	0	5	2	4	4	6	21			
		達成(評価)(C)	C	A	C	B	B	A		84%		
	【実施主体】 香南市	5年間の 取り組みの 総括 (D・C)	R2～R6年度の5年間で目標値25件に対して21件となった。交流会等での事業周知により毎年申請をいただくことができ、市内企業の人材育成に寄与出来たものとするが、申請企業が偏っている現状があり、多くの企業に活用いただけるように、より幅広い周知が必要であった。									

PDCAサイクル: (P)Plan…計画(D)Do…実行(C)Check…評価(A)Action…改善												
戦略 の 柱	◆取り組みの柱		年度	基準値 (H30年度末)	R2	R3	R4	R5	R6	計(C)	第2期の 達成度合	【今後の取り組み】(A)
	事業名称	目標値									A/B/C	
	○具体的な取組 (P)	実績値										
既存企業 の 育成・ 支援			年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	計(C)	第2期の 達成度合	【R7年度の取り組み内容】(A)
	4. 香南市未来人材育成奨学金 返還助成事業 (香南市未来人材育成奨学金返還助成金) 【利用件数(件)】		目標値	10	5	5	5	5	5	25	C	R7年度より交付の対象者を大幅に拡充(1次産業の追加や交付金額に差はあるものの、市外で働く方も対象となる)することになっており、申請の大幅な増加が見込める。第3期からは工業の指標からは外すが、引き続き、企業訪問やものづくり会等とおして、事業の周知等はおこなっていく。
			実績値	0	0	5	2	4	2	13		
			達成(評価)(C)	C	C	A	C	B	C		52%	
	【実施主体】 香南市		5年間の 取り組みの 総括 (D・C)	R2年度に対象者拡充の要綱改正をおこなったことで、認定申請者が増加し、R3～6年度は継続的に新規認定をおこなうことができた。 香南市在住で香南市の企業で働く方への補助金であり、今後の香南市の人材確保に大きく貢献できる事業のため、今後はHPや広報だけでなく、SNS等も活用して若年者に事業内容が伝わるような周知活動が必要であると考える。								
			年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	計(C)	第2期の 達成度合	【R7年度の取り組み内容】(A)
	5. 合同企業説明会の開催 【開催回数(回)】		目標値	－	2	2	2	2	2	10	A	R7年度は実施回数を2→3に増やし、より雇用の創出に繋がる活動を行える体制を整えている。新たに追加した職業能力開発短期大学校を会場とした合同説明会に市も加わることで、学生と企業のマッチングの支援に努める。
			実績値	－	2	1	3	2	2	10		
			達成(評価)(C)	－	A	C	A	A	A		100%	
	【実施主体】 香南市/高知県		5年間の 取り組みの 総括 (D・C)	県との合同企業説明会や城山高校への説明会開催等により、市内企業の人材確保に努めた。 県との合同企業説明会では直接、求職者や学生が企業の声を聞くことができ、企業にとっても企業紹介の良い場になったが、開催の時期が9月だったこともあり、学生の参加が少なかったため、今後は、夏休みの時や土日祝日での開催も視野にいれて検討する必要がある。								
			年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	計(C)	第2期の 達成度合	【R7年度の取り組み内容】(A)
	6. ものづくり教育推進事業 【工場見学やものづくり体験 学習実施回数(回)】		目標値	－	1	1	1	1	1	5	B	R7年度も引き続き、夏に工場見学ツアーを実施予定。工場見学先は未定であるが、実際に体験作業等ができる先で検討している。また、見学の中で体験型授業等の新たな可能性も模索していく。
			実績値	－	－	－	1	1	1	3		
			達成(評価)(C)	－	－	－	A	A	A		60%	
	【実施主体】 香南市		5年間の 取り組みの 総括 (D・C)	小学4～6年生を対象に香南市内の工場見学ツアーを実施した。今後の香南市の人口や就業率の増加を達成するうえで、小さい頃から香南市の仕事に触れることは重要であり、今後も継続していく必要性がある。 また、企業が学校に訪問して企業説明をおこなったり、体験型授業を催すなど、新たな試みを検討することも必要であると考える。								

第2期数値目標及びKPI評価書

【観光分野】

数値目標	年度	基準値 (R元年度末)	R2	R3	R4	R5	R6	最終目標 (累計)	第2期の 達成度合	備 考
観光施設入込客数 (万人)	目標値	120	107	110	114	117	121	569	B	観光庁の「観光客入込客統計に関する共通基準」に該当する下記対象施設の入込客数。 (暦年 1-12月の合計) 【対象10施設】合計 ①県立のいち動物公園 ②月見山子どもの森 ③ヤ・シィパーク ④絵金蔵 ⑤天然色市場 ⑥やすらぎ市 ⑦あぐりのさと ⑧黒潮温泉 ⑨創造広場「アクトランド」 ⑩土佐カントリークラブ
	実績値	104.5	90.7	96.2	102.2	101.8	98.3	489.2		
	達成 (評価)	B (※11施設)	B	B	B	B	B		86.0%	

■取り組みの内容について

【 第2期の総括 】
令和2年度から新型コロナウイルス感染症が流行したため、観光施設の休館や外出控え、外国人観光客の渡航制限などにより目標は達成することができなかった。しかしながら、落ち込んだ観光客の回復のために市独自のキャンペーンの実施や県が実施したトク割キャンペーンにより、近隣他県からの誘客や県内観光客の誘客促進につながり、目標の85%以上を達成し続けることができた。
また、キャンペーンや各種特設ページの開設、SNSでの情報発信を活発に行い、HPへのアクセスにつなげることで、香南市の多様な情報を届けることができた。
令和5年度からは、外国人観光客を乗せた船の寄港の増加、台湾からの定期就航便が定着するなど、外国人観光客の増加に伴い受入体制の強化が必要となっている。
令和6年度は、猛暑や南海トラフ地震臨時情報の発表が影響し、屋外施設や沿岸部の施設で観光入込客数が減少した。
しかし、連続テレビ小説「あんぱん」放送開始や高知ものべがわエリア観光博「ものべすと」が令和7年3月29日に開幕し、視聴世代であるシニア層やファミリー層がゆかりのある物部川エリアへの来訪やアクトファクトリーがオープンして新たな観光拠点が増えたことなど、観光客の増加が見込める機運が高まっている。
このことから、適切な情報発信と受入環境を整えることで魅力を感じてもらい、周遊促進・滞在延長やリピーターに繋げていく取組が必要である。

PDCAサイクル: (P)Plan…計画 (D)Do…実行 (C)Check…評価 (A)Action…改善

戦略の柱	◆取り組みの柱	年度	基準値 (H30年度末)	R2	R3	R4	R5	R6	計(C)	第2期の 達成度合	【今後の取り組み】(A)
	事業名称	目標値								A/B/C	
	○具体的な取組 (P)	実績値									
香南市観光の発信	◆ 情報発信手段の効果的な活用										
		年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	計(C)	第2期の 達成度合	【R7年度の取り組み内容】(A)
	1. 香南市のPR活動の強化 【イベント参加数（日曜市+高知新港PR）】 【実施回数（回）】	目標値	－	25	25	25	25	25	125	A	令和7年度から日曜市で酒類の販売が可能となったため、関連事業者の初出店を予定。高知新港は約100隻が寄港予定となっているため、外国語表記のパンフレットやPOPを増やし、積極的に出展、声掛けを行う。 また、市内外のイベント出店を行い、香南市のPR活動を強化していく。
	(R2) イベント参加回数 (R3) 同上 (R4) 同上 (R5) 同上 (R6) 同上	実績値	－	8	18	27	46	26	125		
		達成(評価)	－	C	B	A	A	A		100%	
	【実施主体】 香南市 （一社）香南市観光協会 （一社）物部川DMO協議会	5年間の 取り組みの総括 (D・C)	令和2～3年度においては、新型コロナウイルス感染症拡大により、日曜市の中止や自粛、高知新港への寄港が少なかったため、十分なPR活動を行うことができなかったが、新型コロナウイルス感染症による影響が少なくなってきた段階から積極的に出店し、目標を上回るPR活動を実施できた。 日曜市に出店する事業者の多様化に取り組み、香南市PRだけでなく、事業者の商品を知ってもらい、誘客にも繋がっている。 ふるさと納税参画事業者に出店の機会があることの周知を進め、香南市への誘客や事業者の販路拡大に繋がるよう取り組んだ。								
		年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	計(C)	第2期の 達成度合	【R7年度の取り組み内容】(A)
	2. 香南市のPR活動の強化 【HPアクセス件数(件)】 (香南市観光協会HP + Guidoor(多言語観光サイト)の合計)	目標値	－	125,000	128,750	132,600	140,700	350,000	877,050	A	タイムリーな情報の掲載・更新、イベント情報の充実、SNS発信との連携、掲載施設のSNSアカウントの追加など、継続して取り組んでいく。
	(R2) HPアクセス件数 (R3) 同上 (R4) 同上 (R5) 同上 (R6) 同上	実績値	－	110,799	128,880	252,028	304,747	383,243	1,179,697		
		達成(評価)	－	B	A	A	A	A		135%	
	【実施主体】 香南市 （一社）香南市観光協会	5年間の 取り組みの総括 (D・C)	R3年度に香南市観光協会のHPの改修によりスマートフォンやタブレット端末による閲覧がしやすくなったこと、キャンペーン・KONAN TRAIL等の特設ページの作成、イベント情報の充実により、HPのアクセス数増加に繋がった。 また、SNSでの情報発信からHPへの誘導を行うことでより詳しい情報や関連する内容を提供することに繋がっている。								

第2期数値目標及びKPI評価書

【観光分野】

PDCAサイクル: (P)Plan...計画(D)Do...実行(C)Check...評価(A)Action...改善											
戦略の柱	◆取り組みの柱	年度	基準値 (H30年度末)	R2	R3	R4	R5	R6	計(C)	第2期の 達成度合	【今後の取り組み】(A)
	事業名称	目標値								A/B/C	
	○具体的な取組(P)	実績値									
香南市観光の発信		年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	計(C)	第2期の 達成度合	【R7年度の取り組み内容】(A)
	3. SNSを活用した情報発信 【フォロワー数(人)】 (LINE+Instagram+Facebook) ※香南市観光協会の各SNSを対象	目標値	－	3,500	4,000	4,500	5,600	8,000	8,000	A	タイムリーで良質な投稿とメッセージへの返信、SNSからホームページへ誘導できるような取組、Instagramのリール動画をYouTubeにも投稿する、香南市の催事や季節の風景をYouTubeにも掲載するなどの取組を継続していく。
	(R2) SNSフォロワー数 (R3) 同上 (R4) 同上 (R5) 同上	実績値	－	4,306	4,891	5,741	7,298	8,497	8,497		
		達成(評価)	－	A	A	A	A	A		106%	
	【実施主体】 (一社)香南市観光協会	5年間の 取り組み の総括 (D・C)	令和2・3・4年はFacebookとライン・Instagram、令和5年からはYouTubeとスレズを追加した。タイムリーで良質な投稿に注力しながらInstagramのフォロワーを伸ばすことができた。 SNSからの問合せにもできるだけ早く返信をするなどして対応することでフォロワーの定着を図った。YouTubeは令和5年度末に投稿した狐の嫁入りがきっかけとなり再生数・登録者数を伸ばした。 香南市の行事やイベント内容を動画で残すことでいつでも鑑賞できるようになり、関心を持ってもらう機会が増えたことやSNSでの情報発信が香南市への誘客にもつながっていると考えられる。								
	◆ 核となる観光拠点の形成										
観光の育成に向けた取り組み		年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	計(C)	第2期の 達成度合	【R7年度の取り組み内容】(A)
	1-1. ヤ・シィパークを核とした 地域の活性化促進 プロジェクト 【道の駅やす入込(人)】	目標値	－	289,000	292,000	295,000	298,000	301,000	1,475,000	B	令和7年度は、「あんぱん」の放映による県外客の増加による売上高の強化を目指す。
		実績値	－	268,617	256,235	293,446	289,096	281,734	1,389,128		
		達成(評価)	－	B	B	B	B	B		94%	
	【実施主体】 株式会社ヤ・シィ 高知県 香南市	5年間の 取り組み の総括 (D・C)	新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントの中止や縮小開催などが入込客数に影響したが、令和4年度にはイベントの再開などにより入込客数が回復し、令和5年度においてもほぼ維持されている。 令和4年度からレンタサイクル事業を開始し、香南市レンタサイクルわくわくクーポンキャンペーンに参加などして誘客に努めたが、目標には達していない。入込客数の増加に向けては、空き店舗の解消や道の駅部分だけでなく、ヤ・シィパーク全体として取組を進めるため、県と協議しながら継続して取組を行う。								
		年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	計(C)	第2期の 達成度合	【R7年度の取り組み内容】(A)
	1-2. ヤ・シィパークを核とした 地域の活性化促進 プロジェクト(mana*mana) 【売上高(千円)】	目標値	－	54,611	55,030	55,448	55,867	56,285	277,241	C	これからの繁忙期に向け、鯉やシラスを使った観光客向けのメニューを導入していく。 また、今年度で退職予定の正社員がいるため、人員体制を整えることに注力する。
	(R2) 売上高 (R3) 同上 (R4) 同上 (R5) 同上 (R6) 同上	実績値	－	18,171	22,372	21,680	22,308	26,860	111,391		
		達成(評価)	－	C	C	C	C	C		40%	
	【実施主体】 株式会社ヤ・シィ 高知県 香南市	5年間の 取り組み の総括 (D・C)	出店や販路拡大に向けた商談会の取り組みを行い、新たな販路も得たが人員体制に課題があり、大量注文への対応が難しいときもあった。 令和5年度より人員配置を変更し、SNSを活用した情報発信や新メニュー、週替わりランチなど誘客に繋がる取り組みを強化した。今後も人員体制を整え、作業の効率化に取り組み、需要に応えられるように事業を進める必要がある。 令和6年度はお中元の注文が過去5年間での一番の売上高となった。又、R7年1月よりアイス製造作業の効率化を図り製造本数を前年対比180%(1月～3月)増やすことができ、令和7年度の繁忙期へ向けて前年度を上回る製品在庫の確保が出来た。								
		年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	計(C)	第2期の 達成度合	【R7年度の取り組み内容】(A)
	2. 三宝山エリア活性化促進 プロジェクト [地域と連携した高知県産ワインの ブランド化促進事業]【千円】	目標値	－	醸造所 建設	醸造 開始	37,132	59,122	75,246	171,500	A	①圃場拡大※3期間に分けて実施 ②観光誘客の仕組み作り ・参加企業との情報共有を密にする。 ・三宝山エリアの観光組織の自走化し、周遊観光の仕組みを作る。 ・三宝山エリアでの観光イベント造成。 ・醸造所に滞在できる仕組み作り。 ③食品部門の営業強化
	(R2) 醸造所建設 (R3) 醸造開始 (R4) 商品売上高 (R5) 同上 (R6) 同上	実績値	－	醸造所 完成	醸造 開始	71,735	66,638	65,239	203,612		
		達成(評価)	－	A	A	A	A	B		119%	
	【実施主体】 井上ワイナリー株式会社 井上石灰工業 株式会社 高知県 香南市	5年間の 取り組み の総括 (D・C)	計画通りに事業が進んでいる。令和4年度は醸造所オープンの特異性もあり、多くの方が訪れたため、食品の売上高は目標値を大幅に上回る結果となっていた。 令和5年度は食品売上が前年実績から大きく低下したが、ワインが好調で目標値は達成した。令和5年、6年度には、国内外様々なワインコンクールで入賞するなど酒質が向上し、ブランド化が確立してきている。 ワイン単体の売上は限られた原材料を工夫して高単価商品を醸造するなどし毎年伸びているものの、原料ぶどうの栽培量が少なく需要に供給が追い付かない状況が続いており、圃場拡大が急務である。ワインに興味が高い客層や観光誘客を図り、醸造所への来店客数を増やす取り組みが継続した課題である。 R6年度末には三宝山エリアの観光施設(井上ワイナリー、のいち動物公園、四国自動車博物館、創造広場「アクトランド」)との連携を目的にした「三宝山エリア観光を考える会」が発足することができた。								

PDCAサイクル: (P)Plan…計画(D)Do…実行(C)Check…評価(A)Action…改善

戦略の柱	◆取り組みの柱	年度	基準値 (H30年度末)	R2	R3	R4	R5	R6	計(C)	第2期の 達成度合	【今後の取り組み】(A)
	事業名称	目標値								A/B/C	
	○具体的な取組(P)	実績値									
観光の育成に向けた取り組み	◆ 広域観光の推進										
		年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	計(C)	第2期の 達成度合	【R7年度の取り組み内容】(A)
	1. 物部川エリア観光連携事業 【対象9施設入込客数(人)】※年度 (R2)対象9施設入込客数 (R3)同上 (R4)同上 (R5)同上 【香南市】 ・高知県立のいち動物公園 ・創造広場「アクトランド」 ・絵金蔵 【香美市】 ・香美市立やなせたかし記念館 ・龍河洞 ・ザ・シックスダイアリーかほくホテルアンドリゾート ・べふ峡温泉(R6年度～休館) 【南国市】 ・西島園芸団地 ・高知県立歴史民俗資料館	目標値	52,578	777,000	815,000	855,750	898,600	944,000	4,290,350	B	物部川エリアでの観光博覧会の開催もあり、調査対象施設それぞれの取組を広く広報することで、入込数を増やす。
		実績値	26,868	460,082	578,536	723,699	732,323	679,152	3,173,792		
		達成(評価)	C	C	B	B	B	B		74%	
	【実施主体】 (一社)物部川DMO協議会 高知県 (一社)香南市観光協会 香南市	5年間の 取り組みの 総括 (D・C)	新型コロナウイルス感染症の影響により、ものべがわフェスタの中止などがあったものの各種商談会への参加や変化するニーズに応じたプランの提案、視察の受入、オンラインイベントの開催などに取り組んだ。 ものべ旅クーポン等、閑散期の誘客に寄与する取組を積極的に行っており、目標値は達成できていないものの、徐々に入込客数を伸ばしている。 令和7年度には連続テレビ小説「あんぱん」放送が決定され、物部川エリアでの観光博覧会事務局となったことから、各事業所と連携した周遊促進、観光客の増加に寄与する取組を連携して行っていく必要がある。その準備のため、香美市立やなせたかし記念館、ザ・シックスダイアリーかほくホテル＆リゾートは11月5日～3月28日まで休館をし、その減数が実績値を大きく下げた。								
	◆ スポーツツーリズムの推進										
		年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	計(C)	第2期の 達成度合	【R7年度の取り組み内容】(A)
	1. サイクルイベントの開催 【サイクルイベント参加者数(人)】 (R2) サイクルイベント参加者数 (R3) 同上 (R4) 同上 (R5) 同上 (R6) 同上	目標値	－	580	780	850	920	450	3,580	C	R6年度に開催した「ものべすと周遊ライド」をより、パワーアップさせた内容のサイクルイベントを開催し、市内外のサイクリスト誘客増に努める。 新規事業として「障がい者自転車体験会」の開催予定。様々なターゲット層に自転車を身近に感じてもらえる機会創出を図る。
		実績値	－	106	135	204	300	479	1,224		
		達成(評価)	－	C	C	C	C	A		34%	
	【実施主体】(自転車) (一社)香南市観光協会 (一社)物部川DMO協議会 高知県シクロクロス実行委員会 土佐くろしお鉄道 香美市 南国市 香南市	5年間の 取り組みの 総括 (D・C)	R3年度に香南市自転車活用推進計画が完成し、取組を進めてきたが、当初予定した実施主体団体の解散により、サイクルイベント参加者数にカウントされるイベントが開催に至らなかったことや新型コロナウイルス感染症によるイベントの中止、雨天中止などにより、目標値に届かない年度もあった。 しかし、R6年度では、連続テレビ小説「あんぱん」放送決定に伴い、観光博覧会事業のブレイVENTとして開催した「ものべすと周遊ライド」や高知龍馬空港IC～香南のいちIC間開通記念イベントでサイクルイベントを実施し、パリオリンピック出場の「今村駿介」選手を招いたトークショーも行うなど市内外からの誘客につながり、「自転車のまち香南市」を印象付けれる内容となった。 今後も引き続き、香南市の魅力を感じてもらえるサイクルイベントを実施し、誘客や「自転車のまち香南市」のPRにつなげる。								
		年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	計(C)	第2期の 達成度合	【R7年度の取り組み内容】(A)
	2. 塩の道を活用したイベントの開催 【塩の道を活用したイベント 参加者数(人)】 (R2) イベント参加者数 ①トレイルランニングレース ②30kmうおーく (R3) 同上 (R4) 同上 (R5) 同上 (R6) 同上	目標値	500	440	450	460	470	470	1,820	B	【トレイルランニングレース】 香南市夜須町羽尾を通る土佐塩の道と大釜荘・長谷寺周辺の自然等を体験していただきながら、参加者と開催地域との交流を増やし、地域振興や活性化を図る。また、特産品も合わせてPRする。 【30kmうおーく】 4月19日に開催し、地域の魅力をPRする。
		実績値	595	182	97	346	307	339	1,271		
		達成(評価)	A	C	C	B	B	B		70%	
	【実施主体】 (一社)香南市観光協会 土佐塩の道保存会	5年間の 取り組みの 総括 (D・C)	新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントの中止や縮小があり、目標値を達成することはできなかった。 土佐塩の道うおーくは、新たに20kmコースを追加し、より幅広い参加者の取込みを図った。トレイルランニングレースは、令和3年度は中止となったが、令和2年度から香南市香我美町山北を拠点にした38kmミドルコースとし、龍河洞・秋葉山を経由する土佐塩の道トレイルランニングレースを開催。 令和4年度で香南市・香美市に跨るレースをファイナルとした。令和5年度からは香南市夜須町のヤ・シィパークを拠点に、羽尾の塩の道徳善往還をコースに使用したKONAN TRAIL～お塩と羽尾とやすらぎトレイル～として開催。地元の皆さんにも協力を得て開催し、県内外の参加者に地域の魅力をPRできた。								

第2期数値目標及びKPI評価書

【観光分野】

PDCAサイクル: (P)Plan…計画(D)Do…実行(C)Check…評価(A)Action…改善

戦略の柱	◆取り組みの柱	年度	基準値 (H30年度末)	R2	R3	R4	R5	R6	計(C)	第2期の 達成度合	【今後の取り組み】(A)
	事業名称	目標値								A/B/C	
	○具体的な取組(P)	実績値									
観光の育成に向けた取り組み		年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	計(C)	第2期の 達成度合	【R7年度の取り組み内容】(A)
	3. マリンスポーツの推進 【大会参加者数 + マリン体験の参加者数(人)】	目標値	－	230	240	240	260	260	1,230	B	マリン体験受け入れに向けた人員体制の整備。 津波や波浪、強風等に対する安全確保のため、実施場所をや・シニパーク海水浴場内とする。
	(R2)参加者数 (R3)同上 (R4)同上 (R5)同上 (R6)同上	実績値	－	174	185	247	142	140	888		
		達成(評価)	－	B	B	A	C	C		72%	
	【実施主体】 香南市 香南市農業委員会	5年間の 取り組みの 総括 (D・C)	新型コロナウイルス感染症の影響があったものの、県内からの利用が増え、目標値を達成できた年度もあるが、受入側の人員体制が整わず、個別のマリン体験の受け入れが十分にできなかった。また、猛暑による熱中症警戒アラート発令や地震情報など、自然環境による影響も大きかった。								
受入体制の強化	◆ おもてなしの向上										
		年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	計(C)	第2期の 達成度合	【R7年度の取り組み内容】(A)
	1. 香南市案内人会の拡充 【案内人会会員数 (人)】	目標値	26 (延べ)	26 (延べ)	28 (延べ)	30 (延べ)	32 (延べ)	34 (延べ)	32	C	連続テレビ小説「あんぱん」の放送が開始したことを受け、香南市の主要な会場(あかおか駅から絵金蔵・弁天座)周辺のガイドや案内の研修を行い、観光客の満足度を高める。また野市、香我美、吉川のガイドプランを考える。
	(R2)会員数 (R3)同上 (R4)同上 (R5)同上 (R6)同上	実績値	23	24	22	21	19	19	19		
		達成(評価)	B	B	B	B	C	C		59%	
	【実施主体】 香南市案内人会	5年間の 取り組みの 総括 (D・C)	新型コロナウイルス感染症の影響により、研修など積極的に行うことができなかった。また、会員の高齢化によりガイドが難しく、引退する会員が出たため、減少となった。 R4年度、R5年度は連続テレビ小説「らんまん」に合わせて、香南市周遊花めぐりバスのガイドを務め、乗客からは好評であった。地域の魅力を伝え、リピーターになってもらうためには、ガイドの役割が非常に重要である。今後も継続した活動を実施できるよう、会員数の増加やガイド技術向上など取組を支援していく必要がある。								
		年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	計(C)	第2期の 達成度合	【R7年度の取り組み内容】(A)
	2. 外国人観光客受入研修の実施 【参加事業者数】 ※ R6年度末累計 50事業者	目標値	5	10	10	10	10	10	50	A	外国人、障がい者、高齢者、ベビーカーを押すファミリーなど、多様な観光客を受け入れられる人材を育成する。県のバリアフリー対応研修等を活用し、実際に介助等を行う模擬訓練を兼ねた研修を行う。
		実績値	3	－	15	24	14	10	63		
		達成(評価)	B	－	A	A	A	A		126%	
	【実施主体】 香南市 (一社)物部川DMO協議会	5年間の 取り組みの 総括 (D・C)	新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度は開催が見送られたものの、令和3年度から実施し、令和4年度においては、観光庁の補助金を活用して2回開催できたことから、目標値を達成した。特に令和4年度の中で紹介された翻訳アプリはその後、事業所で活用されていることを確認し、回復傾向にある外国人観光客の受入に寄与している。 令和6年度は英語圏、台湾語の講師を招き、普段疑問に思っていることなどを直接聞き、解決のヒントを得る講座をおこない、施設のサインを改修する取り組みを行った。今後も増加が見込まれる外国人観光客の受入体制の強化に向けた取組を継続するとともに、子育てファミリーや障がい者対応も学び、満足度の向上や消費拡大に繋げていく必要がある。								
		年度	基準値	R2	R3	R4	R5	R6	計(C)	第2期の 達成度合	【R7年度の取り組み内容】(A)
	3. アンケート調査の実施 (観光地点パラメータ調査)	目標値	－	調査	調査	調査	調査	調査	調査	A	物部川DMO協議会が行うデジタルのアンケートと対面でのアンケートに、県のデジタルデータ結果も活用し、これまで物部川エリア3市全体であったものを、各市ごとの結果も出せるよう、詳細な分析を行う。
	(R2)調査実施 (R3)同上 (R4)同上 (R5)同上 (R6)同上	実績値	－	実施	実施	実施	実施	実施	実施		
		達成(評価)	－	A	A	A	A	A		100%	
【実施主体】 香南市 (一社)物部川DMO協議会	5年間の 取り組みの 総括 (D・C)	物部川エリア3市を訪れた観光客を対象としたアンケート調査を実施。旅行者のニーズ等を把握し、観光施設に共有することで、満足度の向上や入込客数の増加に努めた。 令和6年度は観光消費額を対面での聞き取り調査に変更し、エリア内での消費をより詳細に聞き取りするように取り組んだ。									